

令和1（2019）年8月23日

小野市議会議長 川名善三様

派遣議員 前田光教 ㊞

議員派遣報告書

先般、実施しました議員派遣について下記のとおり報告いたします。

記

1 派遣日

令和1（2019）年8月8日（木）～令和1（2019）年8月9日（金）

2 派遣議員

村本洋子 久後淳司 河島三奈 高坂純子 前田光教
小林千津子 岡嶋正昭 川名善三



3 派遣先

- (1) 奈良県奈良市 「奈良市ポイント制度について」
- (2) 和歌山県田辺市 「鳥獣被害対策・ジビエ事業について」

4-1 内容 **第1日目 奈良県奈良市 奈良市ポイント制度について**

●奈良県奈良市

人口 356,352人 162,380世帯（平成31年4月1日現在）
面積 279.94km² 人口密度 1,272.95人/km²
議員定数 39名（条例定数） 現状37名（平成31年4月1日時点）
年少人口比率11.6% 老年人口比率27.8% 財政力指数0.77
実質交際比率12.7% 将来負担比率161.1%

●ポイント制度開始の目的

外出機会の創出や健康への意識づけによる健康寿命の延伸、社会貢献活動への参加による市民参画意識の向上を目的としている。

●ポイント制度の歩み

平成25年10月	高齢者の入浴補助に代わる制度として検討を開始
平成27年 1月	「長寿健康ポイント」 「ボランティアポイント」の2ポイント事業開始
平成25年 4月	「健康増進ポイント」開始
平成27年 6月	「健康スポーツポイント」開始
平成30年 6月	「多子世帯支援ポイント」開始
令和 1年 6月	「環境ポイント」「ごみ減量モニターポイント」開始

●対象

健康ポイント事業	70歳以上の市民
ボランティアポイント	全市民
健康増進ポイント事業	全市民
健康スポーツポイント事業	全市民
環境ポイント事業	全市民
ごみ減量モニターポイント事業	全市民
多子世帯支援ポイント事業	3人以上の子を養育している市民

●ポイントカードとポイントの活用

ななまるカード（C I - C A） 70歳以上
交通系 I C カード（C I - C A ・ P i T a P a ・ I C O C A）申請発行
多子世帯支援ポイントカード 申請発行

- ①. 特産品に交換 ②. バスチャージ券に交換 ③. 奈良市ポイント加盟店で利用
④. ななまるお風呂券に交換（70歳以上） ⑤. タクシー券

※奈良市ポイントから既存のカード等にポイントを移行は不可であり、P i T a P A ・ I C O C A等の既存カードは、カード番号を活用し奈良市ポイントを、そのカード番号に付加しセンターで管理している。

●ポイントの貯め方

ポイント対象事業にマーキングと取得可能ポイント数を明示（広報誌等で告知）

●各ポイント事業

○長寿健康ポイント事業（健康増進・介護予防に関する事業）

- 講座の受講や後援会への参加 1回20P
- ウォーキングやスポーツ大会等の参加 1回50P
- 運転免許証の自主返納 2000P

○ボランティアポイント事業

- ボランティアセンター等で実施する講座 1回100P
- 絵本リサイクル（リユース） 1冊20P
- 社協サロン活動ボランティア 1回50P
- 図書館ボランティア 1回50P
- 総合福祉センターボランティア養成講座 1回50P

○健康増進ポイント事業（SmaNARA健康プロジェクト・タニタ活動量計）

- SmaNARA健康6ヶ月チャレンジ 1月継続100P
- 1日8,000歩 200P 6,000歩 100P
- 20日ならウォーク 50P
- 胃がんリスク検診 上限3,000P

○健康スポーツイベント事業

- バンビシャス奈良（プロバスケット）試合観戦 1回100P
- 各スポーツイベント 1回20～50P
- ラジオ体操ポイント 50回100P

○多子世帯支援ポイント事業

- 多子（3子世帯） 10,000P

○環境ポイント事業

- エコチャレンジ（CO2削減） 5P
- グリーンカーテン設置 100P
- 宅配ボックス設置ポイント 購入費の2分の1ポイント発行
- 雨水タンク設置ポイント 購入費の2分の1ポイント発行

○ゴミ減量モニターポイント事業

- ダンボールコンポスト利用 → 最大1,000P

○加盟店買い物ポイント

- 加盟店で買い物時にポイント付与（1ポイント1円）

●ポイント制度予算（市単費）平成31年度

システム運営委託費	12,884千円	長寿健康ポイント	3,089千円
ボランティアポイント	3,361千円	健康増進ポイント	5,906千円
健康スポーツポイント	713千円	多子世帯支援ポイント	3,815千円
環境ポイント	1,000千円	ゴミ減量モニターポイント	80千円

●奈良市ポイント制度のその他参考

- ・ポイントの有効期限は1年（平成29年度失効ポイント166,295P）
- ・加盟店手数料0.5%

- ・委託業者（データセンター）立入検査は年1回程度
- ・平成30年度ポイント付与実績14,397,880P
- ・平成30年度ポイント制度登録者数125,913人
- ・今後の展望としてポイントを住民票等の発行手数料として使用可能に

5-1 所感

奈良市のポイント制度は入浴補助事業を、ポイント制度を導入することから開始され、現在では7つの部署に至る制度を実施されている。今回の議員派遣においても7課それぞれの担当課（担当職員）から説明を受け、貴重な時間に感謝しています。

総務省は平成29年6月、マイナンバーカードの取得率向上、マイナンバーカードの更なる活用施策の一つとしてIC機能を活用した「地域経済応援ポイント」の導入による消費拡大策を打ち出し、それらの動向を注視する中、小野市においても平成30年から独自のポイント制度「おのアクティブポイント」がスタートしたものと理解しています。

奈良市においても、また、我々小野市においても完成形ではない状態での対比と研修となりましたが、共通して考えられることは「市民意識」で今後が問われるものと感じました。

現時点での私自身の考えではありますが、地域経済の消費拡大はさることながら、考えを明確に記すことはできませんが、健康・ボランティア・介護・その他諸々から派生するポイントの活用方法の到達点は、市民税等のポイント納付ではないかと考えています。

何れにしましても、今後の各自治体等の取組、それら自治体の市民の方々の意識等々を注視すると共に、小野市における取組、そして

市民各位の意見等の情報収集に努めたいと思います。



4-2 内容 **第2日目 和歌山県田辺市 鳥獣被害対策・ジビエ事業について**

●和歌山県田辺市

人口 73,486人 73,734世帯（令和1年6月末現在）
 面積 1026.91km² 人口密度 約 71.56人/km² 議員定数22名
 年少人口比率11.6% 老年人口比率32.2% 財政力指数0.38
 実質交際比率7.9% 将来負担比率5.5%

●和歌山県・田辺市の主な獣種と被害

○和歌山県の獣種と被害作物（平成30年度被害金額302,074千円）

イノシシ50% シカ16% サル14% アライグマ10% 他10%
 果樹80% 野菜9% 水稻6% 他5%

○田辺市の主な獣種と被害作物（平成30年度被害金額34,943千円）

イノシシ14.8% シカ22.5% サル43.8% アライグマ2.4%
 カラス9% 他7.5%
 果樹89.8% 水稻4.4% 野菜2.1% 他3.7%

●鳥獣被害防止対策の基本的な考え方（3つのポイントを融合）

個体数調査（捕獲） 被害の防除（防護） 集落の環境整備
 「総合的な集落ぐるみの取組が重要」

●防護柵設置支援（市事業）

内 容 事業費（資材費）の一部補助（2分の1以内）
 対 象 田辺市在住の農業者（一人年間1申請・複数個所設置可能）
 事業費 30,000円以上
 実 績 平成28年度 174件 市補助 11,098千円
 平成29年度 163件 市補助 9,759千円
 平成30年度 153件 市補助 9,980千円
 （別途和歌山県補助有・県3分の1・市3分の1）

●狩猟免許取得支援（県・市事業）

○わな免許 経費15,200円 自己負担2,600円
 （県講習受講料全額・市受験料2分の1）
 ○猟銃免許 経費50,200円 事故負担2,600円
 （県経終了全額・市受験料2分の1）
 ○実績（H23年～） わな免許 27人
 猟銃免許 204人 合計231人免許取得

○捕獲補助金・捕獲実績

対象鳥獣	銃補助金	罟補助金	捕獲実数H29	H30
イノシシ	15,000円	10,000円	1,244	871
シカ	15,000円	10,000円	2,735	2,728
サル	30,000円	18,000円	181	218
アライグマ	2,000円	2,000円	589	386
カラス	1,500円	600円	226	454

○有害鳥獣捕獲補助金実績

H28年度 50,827千円 H29年度 54,517千円
 H30年度 50,445千円

●若手農家による狩猟団体「チームひなた」結成・存在

「地域の農地は自分たちで守る」を目的に、平成28年、30代の若手農家5人で結成、同年の猟期から活動を開始した。

- 背景 チームひなたが活動する日向地区は梅・みかんの栽培が盛んで、イノシシ・シカの被害に加え、平成25年頃からサルによる被害が急増した。鳥獣の住家となる耕作放棄地も増えつつある中、被害拡大が懸念され、危機感から行動に至った。
- 活動 鳥獣駆除を担うとともに、食肉処理施設「ひなたの杜」と連携し、捕獲した鳥獣の有効活動（ジビエ活用）にも取り組むこととなる。加えて、食育として地元保育園児とのとうもろこし作付けや、福祉団体と連携した野菜等の作付け、耕作放棄地の対策にも取り組む。

●市内猟友会

- 田辺市には5つの猟友会（田辺・龍神・大塔・中辺路・本宮）
- 猟友会の大半が市の有害鳥獣従事者として協力
- 本宮猟友会以外は市の農業振興課または行政局産業建設課が事務局を担当
- 運営補助金として市から年間50千円を支出

●田辺市鳥獣害対策協議会

- J A紀南・J A紀州・J Aみくまの・農家代表・猟友会・鳥獣保護管理員・学識経験者・射撃場施設運営者・県（振興局・保健所）・田辺市で組織
- 運営補助金として市及びJ A紀南からそれぞれ年150千円（合計300千円）
- 鳥獣被害防止に関する研修会等を開催（連携した捕獲活動）

●ジビエ事業「ジビエ本宮」（田辺市野生鳥獣食肉処理施設整備事業実績）平成23年

○野生鳥獣食肉処理施設整備事業（市補助金）

- ・補助率 市4／5以内（上限320万円）
- ・事業費 4,030,728円（補助額 3,200千円）
- ・規模 木造平屋建て34.4㎡
- ・内容 建築・電気設備工事等

○農作物鳥獣害防止総合対策事業（県補助金・処理加工機器整備支援事業）①

- ・補助率 1／2以内（上限175万円）
- ・事業費 3,317,475円（補助額1,658,千円）
- ・内容 備品購入費（スライサー他）

○農作物鳥獣害防止総合対策事業（県補助金・処理加工機器整備支援事業）②

- ・実施 平成26年度（補助率1／2以内・上限175万円）
- ・事業費 3,282,120円（補助額1,641千円）
- ・内容 備品購入費（冷蔵庫他）

●ジビエ事業「ひなたの杜」紀州ジビエ生産販売企業組合

（田辺市野生鳥獣食肉処理施設整備事業実績）平成29年

○野生鳥獣食肉処理施設整備事業（市補助金）

- ・補助率 市4／5以内（上限320万円）

- ・事業費 15,010,384円(補助額3,200千円)
- ・規模 木造平屋建て135.0㎡
- ・内容 建築・電気設備工事等

○農作物鳥獣害防止総合対策事業(県補助金・処理加工機器整備支援事業)

- ・補助率 1/2以内(上限175万円)
- ・事業費 4,983,831円(補助額1,750千円)
- ・内容 備品購入費(スライサー他)

●捕獲後の処理について

○鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律(第18条)遵守

○有害鳥獣の焼却受け入れ

- 捕獲従事者が捕獲した対象鳥獣に限り市の廃棄物処理施設で受け入れ
- 1口20kg以下
- 平成30年度焼却施設受け入れ実績(イノシシ87・シカ2・サル51)
- 平成30年度ジビエ施設での活用実績(イノシシ122・シカ167)

●田辺市鳥獣被害対策・ジビエ事業の参考事例等

- ・鳥獣被害防止計画に基づく対策として昭和50年開設の「田辺射撃場」の整備
- ・改修予定(令和1年度)
- ・ジビエPR(市イベント等)
- ・ジビエを知る会(日向屋事業・ジビエ普及活動)
- ・わかやまジビエフェスタ(和歌山県事業)県内59店舗 田辺市5店舗

5-2 所感

田辺市は平成17年5月の行政合併により、小野市の約1.1倍の面積を有し、自然環境の異なり等を考えると規模は大小違いますが、今回の視察は、市民自らが鳥獣被害を克服する



きっかけから地域力に繋がる取り組みとして感じ、訪問させて頂きました。まさに「ピンチをチャンス」に、「有害鳥獣を名物に」繋げたものと感じました。

さて、鳥獣対策は自然の生物相手ではあるものの、一つの自治体でも一定以上の成果を得ることの可能性を体感しました。そこには、チームひなたのような地元を愛し、自分自身が動こうとする姿勢の市民が必要であると確信しました。

他人事のようになりますが、これらのような市民提案を期待するとともに、今回の視察情報と内容を地域の方々と共有し、鳥獣被害に向け可能な取組に努めたいと思います。

令和元年8月23日

小野市議会議長

川名善三様

派遣議員 岡嶋正昭 印

議員派遣報告書

先般、実施しました議員派遣について下記のとおり報告いたします。

記

1 派遣日

令和元年8月8日（木曜日）～令和元年8月9日（金曜日）

2 派遣議員

前田光教議員 小林千津子議員 高坂純子議員 河島三奈議員

久後淳司議員 川名善三議員 村本洋子議員 岡嶋正昭 以上8名

3 派遣先

奈良県奈良市 奈良市二条大路南一丁目1-1

人口 約35万6千人 面積 276.94km²

和歌山県田辺市 和歌山県田辺市新屋敷町1

人口 約7万4千人 面積 1,026.91km²

4 内 容

○第1日目 [令和元年8月8日13時30分より]

奈良県奈良市

「奈良市ポイント制度」について

① 長寿健康ポイント 70歳以上の市民が対象

「ななまるカード」(従来の老春手帳・老春手帳優待乗車証の一本化)

目 的 高齢者の外出の機会を増やし、高齢者が生き生きと健康的な生活を送ることに



より、健康寿命を延ばすことを目的とする。

- ・ 講座の受講や後援会への参加等
1回 20ポイント
- ・ ウォーキングイベントやスポーツ大会等
1回 50ポイント
- ・ 運転免許証の返納
2,000ポイント等

② ボランティアポイント 全市民が対象

目 的 ボランティア活動へのきっかけづくりと地域に根差したボランティア活動を促進していくことで、市民参画への意識の向上を目的

- ・ ボランティアセンターで実施する講座等 1回 100ポイント
- ・ 絵本リサイクル(リユース) 不要となった絵本の無償提供
1冊 20ポイント
- ・ 各地区写経サロン活動ボランティア等 1回 50ポイント

③ 健康増進ポイント 全市民が対象

目 的 食事・運動・禁煙等、健康づくりに継続して取り組むこと

- ・ SmaNARA健康6カ月チャレンジ
1カ月継続 100ポイント 6カ月継続 500ポイント
- ・ 1日8,000歩以上で健康づくり 200ポイント
- ・ 胃がんリスク健診 上限3,000ポイント

④ 健康スポーツポイント 全市民が対象

目的 スポーツイベントへの参加やトップスポーツの試合観戦など、スポーツに関心をもち、健康づくりやスポーツをする機会を増やすこと

- ・奈良クラブ、バンビシヤス奈良の試合観戦 1回 100ポイント
- ・市が実施又は指定するスポーツイベント 1回 20～50ポイント
- ・ラジオ体操ポイント スタンプ50個 100ポイント

⑤ 多子世帯支援ポイント 3人以上の子を養育している人

(H30.4以降の出生した第3子以降の子を含む)

申請により専用カードを発行

目的 多子世帯の子育てを支援すること

- ・対象は3人以上の子を養育している人

多子世帯支援ポイント 10,000ポイント

⑥ 環境ポイント 全市民が対象

目的 地球温暖化対策の一環として、省エネルギーに資する環境に優しい行動に取り組む

- ・エコチャレンジポイント (対前年度比削減度比×5ポイント)

- ・グリーンカーテン設置ポイント 100ポイント

- ・宅配ボックス設置ポイント (上限 5,000ポイント)

購入費の2分の1のポイント

- ・雨水タンク設置ポイント (上限10,000ポイント)

雨水タンクの購入費の2分の1のポイント

⑦ ごみ減量モニターポイント 全市民が対象

目的 ごみの減量化の裾野を広げること

「ダンボールコンポスト」を利用した生ごみ減量モニターに 合計1000ポイント

以上の7項目にわたっての制度です。

《奈良市ポイント制度の目的》

外出機会の創出や健康への意識づけによる健康寿命の延伸、社会貢献活動への参加による市民参画意識の向上を目的としている。

平成25年10月	高齢者の入浴補助に代わる制度として（長寿福祉課） 翌月、市長のマニフェストNEXT4の施策に基づき検討
平成27年4月	健康増進ポイント開始
6月	健康スポーツポイント開始
平成30年6月	多子世帯支援ポイント事業開始
令和元年6月	環境ポイント事業、ごみ減量モニターポイント事業開始



【ポイントの使い方】

奈良市の特産品

イチゴ、お米、お茶等と交換

奈良交通バスの1,000円チャージ券

CI-CAにチャージできる券と交換

ななまるお風呂券 100Pで1枚交換

(70歳以上の方、市内の銭湯で利用可)

加盟店での割引（1ポイント＝1円）

加盟店での買い物時にポイントが使える

タクシー券（500ポイントで500円）

- ・奈良近鉄タクシー
- ・服部タクシー
- ・カイナラタクシー
- ・奈良中央交通

5 所 感

小野市で実施している「おのアクティブポイント」に対しての実施状況についての視察でした。奈良市では市長のマニフェストの施策に基づき検討を始められ、全庁的に取り組み実施されているようです。H26年度は約550万円からスタートし、H31年度では約3,200万円。

ポイント付与実績では、14,397,587ポイント

ポイント利用実績では、10,449,587 ポイント

ポイント利用人数では、延べ2,306人

奈良市ポイントカード登録者数 60,331人

失効ポイント数では、104,433 ポイントとかなりのポイントになっていますが、ポイントに何かを求めているだけではないところにポイント制度の面白さもあるように感じました。

ただ、市域が広く市街地と郡部との考え方における開きの部分も感じています。これら平準化も大変難しいところのようでした。

一概に奈良市との比較は出来ませんが、小野市では年々登録者も増加し獲得ポイントも増えてきていますが、パス交付者数においては男女別でみると、女性への交付が2倍以上と圧倒的に多くなっています。

ポイントの商品交換等からして、何かと交換することが目的とは言えずポイントをためることへの楽しみの部分もあるようです。(一方、男性の参加が期待される場所かと感じています。)

視察に際しては、各担当者の出席を頂き懇切丁寧な視察となり大変ありがたい研修となりました。

○第2日目 [令和元年8月9日9時30分より]

和歌山県田辺市 和歌山県田辺市新屋敷町1

「鳥獣被害対策・ジビエ事業」について



田辺市は、H17年5月に5市町村の合併により発足。市内には世界遺産「熊野古道」や「熊野本宮大社」をはじめとする古い歴史や文化のあるところではあります。

温暖な気候と豊富な日照量に恵まれた地理的条件を活かし、梅やかんきつ類の栽培が、山間部では水稲を中心として、野菜や花き等が栽培されています。

農地面積 3,540 h (田 510 h (14.4%)、畑 3,030 h (85.6%))
農家戸数 2,918 戸(内、販売農家 2,112 戸)

○田辺市の農作物被害の状況について

- ・被害金額 34,943 千円(平成 30 年度)
 - 内訳 イノシシ 5,175 千円 (14.8%)、 シカ 7,870 千円 (22.5%)
サル 15,314 千円 (43.8%)、 アライグマ 822 千円 (2.4%)
- ・農作物被害状況(平成 30 年度)
 - 内訳 果樹 31,367 千円(89.8%)、 野菜 729 千円(2.1%)
水稲 1,537 千円(4.4%)

○鳥獣被害防止対策の基本的な考え方

- ・個体数調整(捕獲) 狩猟、有害捕獲等
- ・集落の環境整備 未収穫作物の収穫、規格外品の除去、隠れ場所の刈取
- ・被害の防除(防護) 防護柵の設置、追い払い等
～総合的な集落ぐるみの取組が重要～

- ・「防護柵」設置事業(市事業)
 - 内 容 事業費(資材費)の一部補助(1/2以内)
 - 対 象 田辺市在住の農業者等
 - 事業費 30,000 円以上(補助金 15,000 円～上限 150,000 円)
 - *イノシシ・シカ用 1m 当たり 800 円(400 円以内)
 - *サル用 1m 当たり 2,500 円(1,250 円以内)
 - *防鳥ネット 10a 当たり 54,000 円(27,000 円以内)

実 績

H28 年度 174 件 22,761,932 円(市補助 11,098,000 円)
H29 年度 163 件 20,427,269 円(市補助 9,759,000 円)
H30 年度 153 件 20,935,634 円(市補助 9,980,000 円)

「防護柵」設置支援には県・国事業としての補助金あり

- ・2 戸以下を囲う場合 ⇒ 県単独事業
- ・3 戸以上まとめて囲う場合 ⇒ 国庫事業(活用実績なし)

○狩猟免許取得支援(県・市事業)

- ・わな猟免許 経費 15,200 円(自己負担額 2,600 円 他県市が補助)
- ・銃猟免許(第一種)経費 50,200 円(自己負担額 2,600 円 市・県補助)

H23～30 年度実績

銃免許 27 人 わな免許 204 人 合計 231 人

○有害鳥獣捕獲補助実績 H30 年度 50,445,000 円(捕獲頭数 4,657 頭)

捕獲補助金	イノシシ 15,000 円(10,000 円)	シカ 15,000 円(10,000 円)
	サル 30,000 円(18,000 円)	アライグマ 2,000 円 (2,000 円)
	カラス 1,500 円 (600 円)	括弧内はわな猟

「ひなたの杜」について

「地域の農地は自分たちで守る」を目的に、平成 28 年に 30 代の若手農家 5 人により発足。以降、田辺市の有害鳥獣捕獲従事者として活動。

日向地区は梅やみかんの栽培が盛ん。

イノシシ・シカの被害に加え、サルの被害が急増。



地区内の有害鳥獣駆除活動を担うとともに、食肉処理施設「ひなたの杜」とも連携し、鳥獣の有効活動（ジビエ活動）にも取り組む。他に、食育として地元保育園児とのトウモロコシ作付けや、福祉団体と連携した野菜等の作付け（農福連携）、地域の耕作放棄地対策等に取り組む。

地元新聞やテレビ東京系、BS-TBS「ザ・撃退」等で紹介されている。

○鳥獣食肉処理施設整備事業

「ひなたの杜」 田辺市上芳養 469-2

事業費

市補助金

15,010,384 円(補助金は上限の 3,200,000 円 補助率 4/5 以内)

県補助金

4,983,831 円(補助金は上限の 1,750,000 円 補助率 1/2 以内)

ジビエ施設での活用実績 (H30 年度)

ジビエ本宮 98 頭 (主に食用として活用)

ひなたの杜 191 頭 (//)

○鳥獣害対策における長期的政策について

農作物等の被害を軽減させるため、市内猟友会や関係機関等との連携のもと、有害鳥獣捕獲をはじめとする被害防止対策に実施していく。

「田辺射撃場の整備（改修）事業」

令和元年度事業 事業費 49,800,000 円

5 所 感

田辺市における鳥獣被害対策・ジビエ事業についての視察でしたが、田辺市においては市域が大変に広く鳥獣にとっての環境が良いのかもしれませんが。被害の状況においてはまだまだこれから増加する可能性も含まれているような気がします。ひなたの杜における地域ではかなりの効果がありますが、これらの取り組みの手を緩めるとすぐに元に戻ってしまうことになるようです。地元の若者の農業従事者が積極的に行動を起こしているところに大きな成果があり、また継続する力がこもっているようにも感じました。

地元猟友会等との連携においても非常に上手く機能しており、成果も目を見張るものがあるようです。

リーダーの養成と資金面でのバックアップが非常に重要と強く感じた視察でした。

令和 1 年 8 月 23 日

小野市議会議長 川名 善三様

派遣議員 小林 千津子 ㊞

議員派遣報告書

先般、実施しました議員派遣について下記のとおり報告いたします。

記

1 派遣日 令和1年8月8日（木）～令和1年8月9日（金）

2 派遣議員

前田光教 岡嶋正昭 久後淳司 河島三奈 高坂純子
小林千津子 村本洋子 川名善三

3 派遣先及び調査内容

(1) 奈良県奈良市（人口：約35万6千人、面積：276.94 km²）
奈良市ポイント制度について

(2) 和歌山県田辺市（人口：約7万4千人、面積：1,026.91 km²）
鳥獣被害対策・ジビエ事業について

4 内容

【第1日】 8月8日(木) 13時30分～15時30分
奈良市役所 長寿福祉課 地域推進課 健康増進課
スポーツ振興課 こども政策課 環境政策課
廃棄物対策課

《項目》

奈良市ポイント制度について

《内容》

目的:外出機会の創出や健康への意識づけによる健康寿命の延伸、社会貢献活動への参加による市民参画意識の向上

長寿健康ポイント事業 担当 長寿福祉課

対象 70歳以上の市民

目的 高齢者の外出の機会を増やし、高齢者がいきいきと健康的な生活を送ることに
より、健康寿命を延ばすことを目的とする。

ポイント数 講座への受講や講演会への参加等 1回 20ポイント
ウォーキングイベントやスポーツ大会等 1回 50ポイント
運転免許証の自主返納 2,000ポイント

ボランティアポイント事業 担当 地域推進課

対象 全市民

目的 ボランティア活動へのきっかけづくりと地域に根差したボランティア活動を促
進していくことで、市民参画への向上を目的とする

ポイント数 ボランティアセンターで実施する講座 1回 100ポイント
ボランティアインフォメーションセンターで実施する講座
1回 100ポイント
絵本リサイクル(リユース) 1冊 20ポイント
各地区社協サロン活動ボランティア 1回 50ポイント
図書館ボランティア 1回 50ポイント
総合福祉センターボランティア養成講座 1回 50ポイント

健康増進ポイント事業 担当 健康増進課

対象 全市民

目的 食事・運動・喫煙等、健康づくりに継続して取り組むことを目的とする。

ポイント数 SmaNARA健康6ヶ月チャレンジ
1ヶ月継続 100ポイント 6ヶ月継続 500ポイント
SmaNARA健康プロジェクト関連事業
1回 20～50ポイント
1日8,000歩以上で健康づくり
8,000歩 200ポイント 6,000歩 100ポイント
20日ならウォーク 50ポイント
胃がんリスク検診 上限3,000ポイント

健康スポーツポイント事業 担当 スポーツ振興課

対象 全市民

目的 スポーツイベントへの参加やトップスポーツの試合観戦などスポーツに関心を持ち、健康づくりやスポーツを増やすことを目的とする。

ポイント数 奈良クラブ、バンビシヤス奈良の試合観戦

1回 100ポイント

市が実施又は指定するスポーツイベント 1回 20～50ポイント

ラジオ体操ポイント スタンプ50個 100ポイント

多子世帯支援ポイント事業 担当 こども政策課

対象 平成30年4月1日以降に生まれた第3子以降の子を養育している人

目的 多子世帯の子育てを支援することを目的とする。

ポイント数 多子世帯支援ポイント 10,000ポイント

環境ポイント事業 担当 環境政策課

目的 地球温暖化対策の一環として、省エネルギーに資する環境にやさしい行動を取り組むことを目的とする。

ポイント数

① エコチャレンジポイント

電気・ガスの使用料の削減に6ヶ月間取り組み、前年と比較し削減できた使用料に応じてポイントを発行。

CO₂削減量(kg)に換算×5ポイント

② グリーンカーテン設置ポイント 100ポイント

市内の自己居住の住宅に設置した人

③ 宅配ボックス設置ポイント

市内の自己居住の住宅に宅配ボックスを設置した人

宅配ボックスの購入費の2分の1(上限5,000ポイント)

④ 雨水タンク設置ポイント

市内の自己居住の住宅に雨水タンクを設置した人

雨水タンク購入費の2分の1(上限10,000ポイント)

ごみ減量モニターポイント事業 担当 廃棄物対策課

目的 ごみの減量化の裾野を広げることを目的とする

「ダンボールコンポスト」を利用した生ごみ減量モニターの方に達成段階に応じてポイント(合計1,000ポイント)

ポイントの使い方

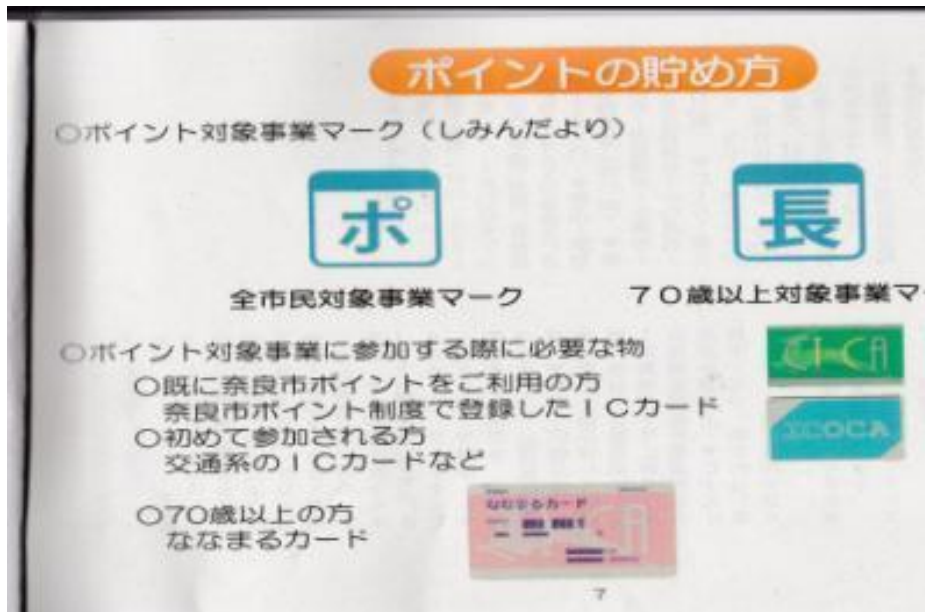
○奈良市の特産品 奈良市のいちご、お米、お茶等と交換することができる

○奈良交通バスの1,000円チャージ券

○ななまるお風呂券(70歳以上対象)市内の銭湯(5ヶ所)で利用できる

○加盟店での割引(1ポイント=1円)加盟店での買い物に使える

○タクシー券(500ポイントで500円)



ポイントカード運営事務局の業務

- (1) ポイント管理システムの運用
システムの保守、管理
コンテンツの制作業務
- (2) ホームページの運用
運営、企画、保守に関する業務
- (3) ポイント事務局の運営
事務局体制 職員+アルバイト2名 10時から17時開局
ポイントカードの発行管理業務
サービスの公報
- (4) その他ポイント制度の運営に係る業務伝搬

市が行う業務

- (1) 市のポイント対象事業の実施とポイントの付与
- (2) ポイントカードの新規登録 70歳になると長寿福祉課より案内
- (3) ポイントの交換
- (4) 委託料の支払い

ポイントの利用

- (1) 加盟店での利用 1ポイント1円
- (2) 特産品 500ポイントから5,000ポイント
- (3) 奈良交通バスチャージ券 1,000ポイント 1枚
- (4) ななまるお風呂券 70歳以上100ポイント1枚
- (5) タクシー券 500ポイント1枚

《所 感》

ポイントカードの登録者数が市民の約3分の1の12万5千人、ななまるカードの登録者が、70歳以上の方の8割、交通系ICカード登録者が6万人と大変多くの方が登録され利用されているようです。担当されている課も5課に渡るとのことでした。そして私達もそれぞれの担当課から詳しく説明をいただきました。運営は事務局を設置。31年度の予算は合計1,700万円との話でした。健康促進活動やボランティア活動、スポーツ観戦でポイントを貯め、貯まったポイントで加盟店での割引利用、特産品との交換、奈良交通のバスチャージ券、タクシー券、お風呂券と利用範囲も広く奈良市のポイント制度の実績に驚き当市もポイント取得の範囲を広げて行けないかなと感じました。



奈良市役所前



研修中

【第2日】 8月9日（金） 9時30分～12時00分
和歌山県田辺市（人口：約7万4千人、面積：1,026.91K㎡）

《項 目》

鳥獣被害対策・ジビエ事業について

《内 容》

田辺市の農作物の被害状況（H30年度）『獣種別』

被害金額	34,943 千円	
イノシシ	5,175 千円	14.8%
シカ	7,870 千円	22.5%
サル	15,314 千円	43.8%
アライグマ	822 千円	2.4%
カラス	3,132 千円	9.0%
その他	2,630 千円	7.5%

田辺市の農作物の被害状況 (H30年度) 『農作物別』

被害金額	34,943 千円	
果樹	31,367 千円	89.8%
水稻	1,537 千円	4.4%
野菜	729 千円	2.1%
その他	1,310 千円	3.7%

鳥獣被害防止対策の基本的な考え方

個体数調整 (捕獲)	被害の防除 (防護)	集落の環境整備
狩猟、有害捕獲等	防護柵の設置	未収穫作物の収穫
	追い払い	放置された規格外品の徐去
		鳥獣の隠れ場所の刈払い

「防護柵」設置支援 (市事業)

内容	事業費 (資材費) の一部補助 (1/2 以内)
対象	田辺市在住の農業者等
事業費	30,000 円以上 (補助金 15,000 円～上限 150,000 円)

狩猟免許取得支援 (県・市事業)

内容	狩猟免許 (わな猟、銃猟 (第1種)) の取得に係る経費の一部補助
条件	1. 免許取得年度の狩猟登録すること 2. 有害鳥獣駆除に取り組むこと

わな猟免許

経費 15,200 円 (講習受講料 10,000 円 受験料 5,200 円)

銃猟免許 (第1種)

経費 50,200 円 (講習受講料 10,000 円 受験料 5,200 円)
銃所持許可の教習受講料 35,000 円

有害鳥獣捕獲補助金及び捕獲実績

捕獲補助金額(円)

	銃	わな	
イノシシ	15,000	10,000	1 頭 1 羽当たり
シカ	15,000	10,000	捕獲期間
サル	30,000	18,000	4/1～10/24
アライグマ	2,000	2,000	11/1～3/15
カラス	1,500	600	

捕獲実績 (頭・羽)

H30 年度

イノシシ	871	シカは管理捕獲含む
シカ	2,728	R 元年度田辺市有害鳥獣
サル	218	捕獲従事者数 379 人
アライグマ	386	
カラス	454	
合計	4,657	

捕獲補助金額 H 30 年度 50,445,000 円

市内猟友会

田辺市内には5つの猟友会分会が存在
猟友会員のほとんどは市の有害鳥獣捕獲従事者として有害鳥獣駆除に協力
本宮分会以外は、市農業振興課又は行政局産業建設課が事務局を担当
運営補助金として市から年50,000円を各分会に支出

集落の環境整備

廃棄果実の除去 放任果樹の伐採 集落ぐるみの追払い
鳥獣の隠れ場所の刈り払い 防護柵の設置

田辺市野生鳥獣食肉処理施設整備事業実績（ジビエ活用）

主体 H29年度
名称 紀州ジビエ生産販売企業組合（ひなたの杜）
所在 田辺市上芳養469-2

市補助金

野生鳥獣食肉処理施設整備事業

補助率 4/5以内（上限320万円）
事業費 15,010,384円
補助額 3,200,000円
規模 木道平屋建て 135㎡
内容 建築、電気設備工事費等

県補助金

農作物鳥獣害防止総合対策事業（処理加工機器整備支援事業）

補助率 1/2以内（上限175万円）
事業費 4,983,831円
補助額 1,750,000円
内容 備品購入費（スライサー他）

捕獲後の処理について

狩猟者による適切な処理（鳥獣の放置等の禁止）
捕獲した鳥獣については自家消費や埋設等により適切に処理しなければならない

有害鳥獣の焼却受け入れ

有害鳥獣捕獲従事者が捕獲した対象鳥獣に限り、市の廃棄物処理施設での受け入れ
受け入れ時間 平日の8:30~16:30
受け入れ条件 1口20kg以下
受け入れ実績 H30年度 イノシシ87、シカ2、サル51、合計140

ジビエ施設での活用実績

ジビエ本宮	イノシシ7	シカ91	合計	98
ひなたの杜	イノシシ115	シカ76	合計	191

鳥獣害対策における長期的政策について

鳥獣被害防止計画に基づく対策

農作物等被害を軽減させるため、市内猟友会や関係機関等との連携のもと、有害鳥獣捕獲をはじめとする被害防止対策を継続的に実施していく。

ジビエを活用した地域活性化

イベント等でのPR 各種イベントにおいてジビエ料理を提供
「ジビエ」を知る会 地域住民を対象としたジビエ普及活動を実施
わかやまジビエフェスタ」 シカやイノシシを地域資源として有効活用

《所 感》

現地視察で、田辺市上芳養 498-2 にある「ひなたの杜」にお邪魔しました。コンビニにまで歩いて 13 分、小学校まで 30 分の道のりですと話されました。

市役所から車で 30 分余りの大変眺望の良いところにある「ジビエ生産販売企業組合」にお邪魔しました。

若い男性 5 人で「地域商社を目指しています」との言葉通り、担い手の無い田畑を請け負い、梅、ミカンの果樹畠を守りながら有害鳥獣駆除に取り組まれていました。3 年半で 400 頭駆除し、この地域にはイノシシやシカはいなくなったそうです。

「頂いた命を無駄にしないためにジビエとして加工し販売しています。地域の魅力は自分達で作る。」と力強く話されました。

田辺市の 28 年度の野生鳥獣の被害が 37,211 千円と大変な額とのことでした。

猟友会は 5 分会あり 342 名の従事者の方がおられるとのことでしたが、人間と有害鳥獣とのせめぎ合いがありました。

小野市においても広範囲に出没し、田畑を荒らす有害鳥獣の撲滅を考えなくては農業離れがますます進んでいきます。広域に考えていかななくてはいけない問題です。



田辺市役所前



ひなたの杜前

令和元年8月20日

小野市議会議長 川名 善三 様

派遣議員 高坂 純子 ⑩

議員派遣報告書

先般、実施しました 議員派遣について下記のとおり報告いたします。

記

1 派遣日 令和元年8月8日（木）～令和元年8月9日（金）

2 派遣議員

◎前田光教 ○岡嶋正昭 川名善三 久後淳司
小林千津子 河島三奈 村本洋子 高坂純子

3 派遣先及び内容

- (1) 奈良県奈良市（人口：約35万6千人、面積：276.94K㎡）
奈良市ポイント制度について
- (2) 和歌山県田辺市（人口：約7万4千人、面積：1,026.91K㎡）
鳥獣被害対策・ジビエ事業について

4 内 容

【第1日】

奈良県奈良市

人口 約35万6千人 面積 276.94Km²

≪項 目≫

奈良市ポイント制度について

≪内 容≫

◎ポイント制度導入の経緯

平成25年10月：高齢者の入浴補助に代わる制度として検討

平成25年11月：市長マニフェストNEXT4の中にボランティアポイントが
掲げてあったことからポイント制度検討開始

平成27年4月：健康増進ポイント・健康スポーツポイント開始

平成29年5月：キャラクター「ななポン」「ららポン」決定

平成30年6月：多子世帯支援ポイント開始

令和元年6月：環境ポイント・ごみ減量モニターポイント開始



◎ポイント対象者

※全市民対象

○ボランティアポイント（在住・在勤・在学・市内でのボランティア活動者）

○健康増進ポイント、健康スポーツポイント（在住・在勤・在学）

○多子世帯支援ポイント（在住、3人以上の子どもを養育している者）

○環境ポイント、ごみ減量モニターポイント（在住）

※70歳以上の市民

○長寿健康ポイント（在住）

◎ポイントの付与

1) ポイント加盟店において端末によるポイント付与

- ・加盟店で買い物や食事の等売り上げの1%のポイント
- ・来店ポイント1ポイントの加盟店もあり

2) 市の行事において端末によるポイント付与

①長寿健康ポイント→ウォーキングイベント、スポーツ大会参加、運転免許返納

②ボランティアポイント→地区社協が行うボランティア、図書館ボランティア・・・

③健康増進ポイント→1日8,000歩以上、SmaNARA健康、胃がんリスク検診・・・

④健康スポーツポイント→ラジオ体操、地元スポーツ団体ホームゲーム観戦・・・

⑤多子世帯支援ポイント→平成30年4月1日以降に生まれた第3子以降

⑥環境ポイント→グリーンカーテン、雨水タンク、宅配ボックス設置・・・

⑦ごみ減量モニターポイント→ダンボールコンポスト利用

◎ポイントの使い方

- ①加盟店での利用（1ポイント1円）
 - ②奈良市の特産品（500～5,000ポイント）
 - ③奈良交通バスチャージ券（1,000円）「奈良交通 IC カード CI-CA」にチャージ
 - ④ななまるお風呂券（※70歳以上）（100ポイント1枚）市内6カ所の公衆浴場利用可
 - ⑤タクシー券（500ポイントで500円分）市内4社利用可
- ※ポイントを貯めたカードを持って、交換窓口等又は直接加盟店へ

◎登録数等の推移

①ポイント利用人数（延べ）

	長寿健康	ボランティア	健康増進	健康スポーツ	多子世帯支援	加盟店
平成27年度	11,006人	4,069人	5,486人	1,456人	—	15,044人
平成28年度	17,422人	4,433人	9,644人	2,893人	—	23,521人
平成29年度	20,842人	5,580人	23,664人	2,531人	—	34,635人
平成30年度	17,488人	10,545人	18,806人	3,564人	316人	52,306人

②奈良市ポイントカード登録者数

	カード登録者数	ななまるカード	交通系 IC カード
平成28年度	95,317人	58,052人	37,265人
平成29年度	109,958人	61,810人	48,148人
平成30年度	125,913人	65,582人	60,331人

◎予算等について

※平成26年度（初期費用）

システム開発費用 2,160,000円（民間レベルのポイント事業を利用）

ICカード等消耗品 2,325,000円

チラシ作成等 1,197,000円

	システム運營業務委託	ポイント管理業務委託	
平成27年度	8,903,000円	13,680,000円	
平成28年度	12,708,000円	12,746,000円	
平成29年度	12,572,000円	13,000,000円	
平成30年度	12,572,000円	13,200,000円	多子世帯支援（3,800,000円）
平成31年度	12,884,000円	16,888,000円	環境（1,000,000円）ごみ（80,000円）

◎今後の課題・展望について

- ・毎月の健康イベントなど年々人が増えている。
- ・インターネット購入も多く加盟店が増えない。
加盟店の拡大を図るため、今まで1.5%だった手数料を0.5%に引き下げた。
- ・市街地の方の利用はたやすいが、山間部などには加盟店も少なく、バスも頻繁に通らないためポイントを使って頂ける加盟店の開拓が必要である。

- ・商店街振興会へ協力をお願いにチラシを配りながら活動も行っている。
- ・子どもの支援メニューを増やしていきたい。例えば図書カードや育児商品の充実など。
- ・奈良市独自のポイント制度を行っているので、国のポイント制度については考えていない。
- ・今後電子マネー対応なども視野に入れていきたい。

《所 感》

ポイント制度の先駆けでもある奈良市の内容を詳細に勉強できて大変有意義だった。各課それぞれに工夫をされていて、健康寿命の延伸はもとより、社会貢献活動、市民参画意識の向上を目的にされていることがわかった。特に高齢者だけでなく年齢に関係なく、ポイントを貯めていく事業が多方面にわたっており、特に今年度から始まった、環境関連事業については興味がわいた。誰もが日常、当たり前のように使えて、誰もが知っているポイントカードになるにはどうすればよいか。小野市のポイント制度もまだ伸びしろが沢山あるように感じた。それには、何もかも行政が行うのではなく民間との連携で広がりを持たせていくのも案ではないかとも考える。

【第2日】

和歌山県田辺市

人口 約7万4千人 面積 1,026.91 Km²

《項 目》

鳥獣対策・ジビエ事業について

《内 容》

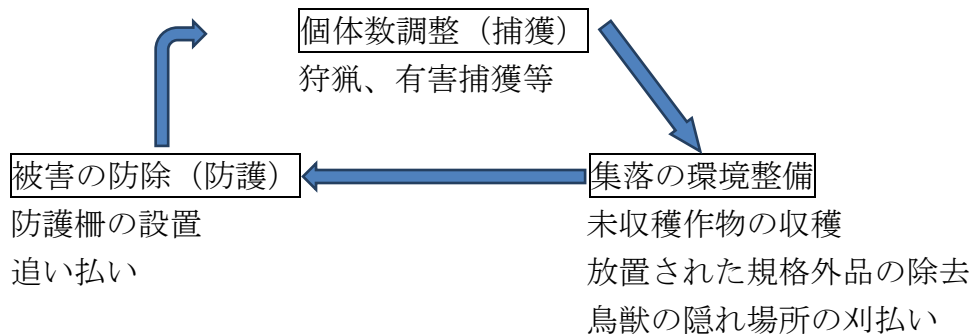
◎農作物被害の状況について

和歌山県被害金額：302,074,000円（果樹80%、野菜、水稻、その他）

田辺市被害金額：34,943,000円（果樹89.8%、水稻、野菜、その他）

田辺市獣種別被害：サル43.8%、シカ22.5%、イノシシ14.8%、その他

◎鳥獣被害防止対策の基本的な考え方



※総合的な集落ぐるみの取り組みが重要※

◎「防護柵」設置支援（田辺市）

- ・資材費の一部補助（1/2以内）
年間一人1申請。対象事業費内での複数箇所設置は可
防鳥ネット設置は園地全体を覆うもの
30,000円以上（補助金15,000～上限150,000円）
イノシシ・シカ用 1m当たり800円（400円以内）
サル用 1m当たり2,500円（1,250円以内）
防鳥ネット 10a当たり54,000円（27,000円以内）

◎「防護柵」設置支援（県・国）

- ・2戸以下を囲う場合⇒県単独事業
- ・3戸以上まとめて囲う場合⇒国庫事業（活用なし）

◎狩猟免許取得支援（県・市）

条件①免許取得年度の狩猟登録をする②有害鳥獣駆除に取り組む

- ・わな猟免許経費15,200円⇒自己負担2,600円
（講習受講料：10,000円は県が全額負担、受講料：5,200円の1/2市が負担）
- ・銃猟免許（第1種）経費50,200円⇒自己負担2,600円
（講習受講料：10,000円・銃所持許可の教習受講料：35,000円は県が全額負担
受験料：5,200円の1/2市が負担）

◎実績（平成23年度～平成30年度）

区分		人数	県補助金	市補助金	自己負担	事業費
銃	初心者	18	758,000円	44,200円	44,200円	846,400円
	経験者	9	350,000円	13,650円	13,650円	377,300円
わな	初心者	174	172,550円	452,400円	452,400円	2,630,300円
	経験者	30	150,000円	58,500円	58,500円	267,000円
合計		231	2,983,500円	568,750円	568,750円	4,121,000円

◎有害鳥獣捕獲補助金及び捕獲実績

○捕獲補助金額（一頭、一羽あたり）

対象鳥獣	イノシシ	シカ	サル	アライグマ	カラス
銃	15,000円	15,000円	30,000円	2,000円	1,500円
わな	10,000円	10,000円	18,000円	2,000円	600円

○有害鳥獣捕獲実績

（単位：頭、羽）

対象鳥獣	イノシシ	シカ	サル	アライグマ	カラス
平成28年度	877	2,666	214	473	400
平成29年度	1,244	2,735	181	589	226
平成30年度	871	2,728	218	386	454

※有害鳥獣捕獲期間（上半期 4/1-10/24・下半期 11/1-3/15）

※猟期中のイノシシは有害捕獲補助金の対象外

※令和元年度田辺市有害鳥獣捕獲従事者数は 379 人（銃は 60 代以上がほとんど）

※**捕獲証明**⇒イノシシ、シカ、サル（日付を入れて写真撮影、しっぽと一緒に提出）
アライグマ、カラス（そのまま持参）

※平成 31 年度予算は 60,000,000 円くらいを予定

◎捕獲後の処理について

- ・鳥獣の放置などの禁止
- ・有害鳥獣捕獲従事者が捕獲した対象鳥獣に限り、市の廃棄物処理施設で焼却受け入れ可能
- ・ジビエ施設での活用（普及活動⇒地域活性化）



◎田辺市野生鳥獣食肉処理施設整備事業実績（ジビエ活用）

		平成 23 年度	平成 29 年度
主体	名称	ジビエ本宮	ひなたの杜
	所在	田辺市本宮大津	田辺市上芳養
市補助金	補助率	4/5 以内(上限 320 万円)	4/5 以内(上限 320 万円)
野生鳥獣食肉処理施設整備事業	事業費	4,030,728 円	15,010,384 円
	補助額	3,200,000 円	3,200,000 円
	規模	木造平屋建て 34.4 m ²	木造平屋建て 135 m ²
	内容	建築、電気設備工事費等	建築、電気設備工事費等
県補助金	補助率	1/2 以内(上限 175 万円)	1/2 以内(上限 175 万円)
農作物鳥獣害防止総合対策事業	事業費	3,317,475 円	4,983,831 円
	補助額	16,568,000 円	1,750,000 円
	内容	備品購入（スライサー他）	備品購入（スライサー他）

◎市内猟友会及び被害防止関係団体

- ・市内には 5 つの猟友会（運営補助金として年間 50,000 円を各分会へ）
- ・田辺市鳥獣害対策協議会（JA、農家代表、猟友会等田辺市により組織。事務局は田辺市農業振興課。運営補助金として田辺市及び JA 紀南から年 150,000 円、計 3,000,000 円）鳥獣被害防止に関する研修会、ジビエ PR、捕獲活動

◎鳥獣害対策における長期的政策について

- ・鳥獣被害防止計画に基づく対策
- ・平成元年度事業 田辺射撃場の整備（改修）事業

県内唯一の射撃場施設だが、開所から 40 年以上が経過している。銃所持許可教習及び講習、猟期前射撃練習のためにも無くてはならない施設であるため、国の鳥獣被害防止総合対策事業を活用して整備を行う。（4,900 万円）

◎ひなたの杜 紀州ジビエ生産販売企業組合

地元の若手農家ら 5 人が「株式会社日向屋」を立ち上げ鳥獣害対策に大きな成果をあげている。3 年間でイノシシやシカなど 400 頭以上を捕獲。高齢化も進む同地区からは被害が目に見えて減り、その周辺にまでも対策を行い地域住民から喜ばれている。同時に、ジビエの処理施設「ひなたの杜」を誘致して活動



している。捕獲したら連絡をもらい持ち帰って処理を行う。解体はすべて一人で行う。肉はレストランや契約店などへ販売。また、地域の人々とともにジビエの普及や農作物の作り方、自然とのかかわり方、命の勉強なども行っている。また摘果ミカンを使った商品開発、グリーンツーリズムの体験ツアーなど農業の将来に向かって活動している。

《所 感》

田辺市鳥獣害対策協議会が設立されていた。国の補助金で ICT 捕獲檻を購入するなど参考にさせて頂き、北播磨での鳥獣対策協議会へと大きく広げていくのも 1 つだと考える。特に現場へ行かせて頂いた「ひなたの杜」でのお話を聞き、経緯や努力にはとても感動した。農業離れが言われる現代社会において「ひなたの杜」のようなグループが増えることを願うし、将来を担う子ども達が U ターンしてでも農業がやりたいと思うような環境作りを行うことが大事と感じた。

また、障がい者施設の方々と一緒に農業を行う＝プロが教えることで良い野菜が収穫できるという言葉は、研修で障がい者施設へ行ったばかりだったのでヒントを頂いた。透き通るような綺麗なイノシシ肉を見せて頂き、ジビエ料理を食せず残念に思った。

令和元年8月23日

小野市議会議長 川名 善三 様

派遣議員 河島 三奈 印

議員派遣報告書

先般、実施しました議員派遣について下記のとおり報告いたします。

記

1 派遣日

令和元年8月8日（木）～8月9日（金）

2 派遣議員

前田光教議員、岡嶋正昭議員、小林千津子議員、高坂純子議員
河島三奈、久後淳司議員、川名善三議員、村本洋子議員

3 派遣先

奈良県奈良市
和歌山県田辺市

4 内 容

【奈良県奈良市】

奈良市ポイント制度について

〈目 的〉

外出機会の創出や健康への意識づけによる健康寿命の延伸、社会貢献活動への感化による市民参画意識の向上を目的としている。

〈ポイントの概要〉

平成25年10月より高齢者の入浴補助に代わる制度として検討され、平成26年1月ポイント制度の構築にあたり長寿福祉課と協働推進課の2課により検討開始、本格的に動き出す。

同8月プロポーザルを実施、業者を選定。

平成27年1月ポイント制度開始、内容はボランティアポイント、健康ポイントの2種から始め、広報は市長による記者発表や“しみんだより（市の広報誌）”による。

平成27年4月に健康ポイント、6月にスポーツポイントを開始。

以後、健康増進強化月間にてポイントプラス、ポイント利用の加盟店を増加するなどの取組を進めている。平成30年6月には多子世帯支援ポイント事業子ども政策課、令和元年6月には環境ポイント事業環境政策課、ごみ減量モニターポイント事業廃棄物対策課で開始されている。

事業当初予算額は550万円程度で、平成31年度予算では約1,700万円。

内訳はシステムの管理運営業務委託料とポイント分である。新規ポイント事業については、初年度は担当課で予算要求を行い、次年度以降は地域づくり推進課で取りまとめをする。（※参考資料）

〈どのようなポイントか〉

上記施策のポイントに加え、加盟店での買い物でもポイントを貯めて、たまったポイントで、①加盟店での割引利用、②奈良市の特産品と交換、③奈良交通バスチャージ券、④タクシー券、⑤ななまるお風呂券（70歳以上）

交通系（CI-CA、PiTaPa ICOCA）などのICカード、または子供むけに市が発行するICカード、またはTANITAのタニタ活動量計によってポイントが貯められる。ななまるカードは70歳以上の方に交付していた「老春手帳優待乗車証」に代わるものとして新設。以前は優待乗車証に加えて「老春手帳」の二枚持ちをカードの一本化に伴い名称変更をする際に、市民から募集し、「70歳を表記しつつも、老人を連想させず、覚えやすくシンプルで呼びやすい」との理由で選定されている。また、WAONカードや、nanacoカード、スマホでのポイント貯蓄もできる。

5 所 感

ポイント制度は成功例と失敗例が極端にできる分野だと思う。小野市の場合には小野地区限定とは言え「地域通貨」が発行され、約10年間継続されていたが今年度廃止になった。目的や主旨は奈良市のポイント制度と同じで、それゆえに制度の難しさは理解しているつもりで視察に臨んだ。結論からいえば奈良市は大変努力されていて、成果もまずまず、これからの継続が楽しみな制度であると感じた。

まず交通系のICカードでポイントを貯めていくという形で、既存のシステムに乗っかる形で進められたのがよかったと思う。特に健康増進ポイント事業が印象に残っている。「SmaNARA健康6か月チャレンジ」で成果のほどを質問したが、やはりポイントを貯めるという目的のためか、継続し記録を出してくれる方も増え、健診の受診結果もが向上しているとの手ごたえを担当者は持っていた。施策自体をずっと継続して追跡調査・分析を行う価値はある様子。将来的にエビデンスのある医療費の削減まで持っていけるかも知れないと感じた。

また環境ポイント事業では宅配ボックスの設置に関し、運送業者の再配達抑制対策に加えて、運送トラックが何回も走ることへのCO2対策を打ち出したのは画期的であると感じた。まさに小さなことからコツコツとを実践している。

小野市もこのような点は是非に取り組んでいかなければいけないと思った。

<参考資料>

長寿健康ポイント事業

担当：長寿福祉課

【目的】
高齢者の外出の機会を増やし、高齢者がいきいきと健康的な生活を送ることにより、健康寿命を延ばすことを目的とします。

健康増進・介護予防に関する事業


- 各公民館・福祉センターで実施する高齢者を対象とした事業
- まほろば健康ウォーク 20kmコース 毎月200名程度
- 運転免許証の自主返納 毎月100名程度 41歳～130名程度に限定

【ポイント数】

・講座の受講や講演会への参加等	1回 20ポイント
・ウォーキングイベントやスポーツ大会等	1回 50ポイント
・運転免許証の返納	2,000ポイント

※ポイントインセンティブ

ななまる運転免許証自主返納支援事業
70歳以上で、平成27年4月1日以降に免許証を自主返納し、運転経歴証明書^①の交付を受けた、ななまるカード（又は老春手帳優待乗車証）を持っている人。
※申請については対象者1人につき1回限りです。



ボランティアポイント事業

ポ 担当：地域づくり推進課

【目的】

ボランティア活動へのきっかけづくりと地域に根差したボランティア活動を促進して行くことで、市民参画への意識の向上を目的とします。

- ①ボランティアセンターで実施する事業
- ②ボランティアインフォメーションセンターで実施する事業
- ③市が実施又は団体と協働するボランティア関連事業
 - ・地区社協が行うサロン活動に従事するボランティア
 - ・図書館ボランティア
 - ・総合福祉センターで行われるボランティア養成講座
- ④福祉政策課が実施する元気ならエクササイズ等のボランティア



【ポイント数】

・ボランティアセンターで実施する講座	1回	100ポイント
・ボランティアインフォメーションセンターで実施する講座	1回	100ポイント
・絵本リサイクル（リユース）	1冊	20ポイント
・各地区社協サロン活動ボランティア	1回	50ポイント
・図書館ボランティア	1回	50ポイント
・総合福祉センターボランティア養成講座	1回	50ポイント



利用者が多く、人気がある



健康増進ポイント事業

ポ 担当：健康増進課

【目的】

食事・運動・禁煙等、健康づくりに継続して取り組むことを目的とします。

「スマートに生きるなら奈良」をコンセプトに『SmaNARA健康プロジェクト』を実施

- ・SmaNARA健康6ヶ月チャレンジ
6ヶ月先の健康目標を決めて、チャレンジシートを記入。
専門スタッフから励ましやアドバイスがもらえます
- ・SmaNARA健康プロジェクト関連事業
- ・1日8,000歩以上で健康づくり
- ・胃がんリスク検診



活動量計（タニタ）

2500歩で1分歩行（約1分）

↓

3000歩1分歩行

1000歩分2分歩行

市役所

16ヶ月継続参加者割合

42% 14194

64138

年々増加している



【ポイント数】

- ・SmaNARA健康6ヶ月チャレンジ
1ヶ月継続 100ポイント 6ヶ月継続 500ポイント
- ・SmaNARA健康プロジェクト関連事業 1回 20~50ポイント
- ・1日8,000歩以上で健康づくり
8,000歩200ポイント、6,000歩100ポイント

- ・20日ならウォーク 50ポイント
- ・胃がんリスク検診 上限3,000ポイント

5~8km歩く（比叡園 血源検診）

医療機関にも通う



健康スポーツポイント事業



担当：スポーツ振興課

【目的】

スポーツイベントへの参加やトップスポーツの試合観戦など、スポーツに関心を持ち、健康づくりやスポーツをする機会を増やすことを目的とします。

- ・奈良クラブ、バンビシヤス奈良のホームゲームの観戦
- ・市が実施又は指定するスポーツイベント
- ・ラジオ体操ではじめる健康づくり“ラジオ体操ポイント”



【ポイント数】

- ・奈良クラブ、バンビシヤス奈良の試合観戦 1回 100ポイント
- ・市が実施又は指定するスポーツイベント 1回 20~50ポイント
- ・ラジオ体操ポイント、^{の公園内清掃ポイント}スタンプ50個 100ポイント

多子世帯支援ポイント事業



担当：子ども政策課

【目的】

多子世帯の子育てを支援することを目的とします。 *結婚・妊娠・出産に
市が支援を*



対象は3人以上の子を養育している人
平成30年4月1日以降に生まれた第3子以降の子を養育する人は申請によりポイント付与。

【ポイント数】

- 多子世帯支援ポイント 10,000ポイント *3人以上の子を養育している世帯
30ヶ月以内申請*

*別カードの理由 → 養育費削減ポイント
ポイントもはら*

環境ポイント事業

41年度開始



担当：環境政策課

【目的】

地球温暖化対策の一環として、省エネルギーに資する環境にやさしい行動を取り組むことを目的とします

- (1) エコチャレンジポイント（電気・ガス使用量の前年比削減量（CO₂削減量（kg）に換算）×5ポイント）
電気・ガスの使用量の削減に6ヶ月間取り組み、前年と比較し削減できた使用量に応じてポイントを発行 *※レジ袋は？ → マイバッグを交換*
- (2) グリーンカーテン設置ポイント（100ポイント）*面積 種類 → 限定なし 成長記録を写真
写真の取得もポイント*
自己の居住の用に供する市内の住宅にグリーンカーテンを設置した人
- (3) 宅配ボックス設置ポイント（上限5,000ポイント※1,000ポイント単位）
自己の居住の用に供する市内の住宅（共同住宅を除く）に宅配ボックスを設置した人に、宅配ボックスの購入費の2分の1のポイントを発行 *→ 3ヶ月程
（5~7万円ほど高価）*
- (4) 雨水タンク設置ポイント（上限10,000ポイント※1,000ポイント単位）
自己の居住の用に供する市内の住宅（共同住宅を除く）に雨水タンクを設置した人に、雨水タンクの購入費の2分の1ポイントを発行

*新築は
12ヶ月以内
完了*



*H20年度は補助金で
ポイント移行 今年度は300個に減*



【和歌山県田辺市】

田辺市鳥獣被害に対する取り組みについて

〈和歌山県の農作物の被害状況 H30〉

被害総額 3億200万円（兵庫県は約4億円）

獣種別 ①猪50% ②鹿16% ③猿14% ④アライグマ10%その他

農作物別 ①果樹（みかん、梅）80% ②野菜9% ③水稲6%その他

〈鳥獣被害防止対策の基本的な考え方〉

- ・ 個体数の調整（捕獲）狩猟、有害捕獲等
- ・ 被害の防除（防護）防護柵の設置、追い払い
- ・ 集落の環境整備 未収穫作物の収穫、放置された規格外品の除去、
鳥獣の隠れ場所の狩払い

上記3つの総合的な集落ぐるみの取組が必要であるとの考え方を基本として、施策を整備、実施している。

課題はどこも同じで、猟友会の高齢化が大きくを占め、田辺市の場合はその点、若者世代が一役かっている。若手農家による狩猟団体「チームひなた」として活動し、成果を出している。「チームひなた」は、平成28年に当時30代の若手農家5人により発足、同年の猟期から活動を開始している。地区内の有害鳥獣の駆除活動を担うとともに、食肉処理施設「ひなたの杜」とも連携し、捕獲した鳥獣の有効活動（ジビエ活用）にも取り組んでいる。加えて食育として地元保育園児とのとうもろこしの作付けや、福祉団体と連携した野菜等の作付け（農福連携）地域の耕作放棄地対策にも取り組んでいる。

田辺市野生鳥獣食肉処理施設整備事業実績(ジビエ活用)

	H23年度	H26年度	H29年度
主体	名称:ジビエ本宮 所在:田辺市本宮町大津荷127-1		名称:紀州ジビエ生産販売企業組合 (ひなたの杜) 所在:田辺市上芳養469-2
市補助金	野生鳥獣食肉処理施設整備事業 補助率:4/5以内(上限320万円) 事業費:4,030,728円 補助額:3,200,000円 規模:木造平屋建て 344㎡ 内容:建築、電気設備工事費等		野生鳥獣食肉処理施設整備事業 補助率:4/5以内(上限320万円) 事業費:15,010,384円 補助額:3,200,000円 規模:木造平屋建て 135㎡ 内容:建築、電気設備工事費等
県補助金	農作物鳥獣害防止総合対策事業 (処理加工機器整備支援事業) 補助率:1/2以内(上限175万円) 事業費:3,317,475円 補助額:1,658,000円 内容:備品購入費(スライサー他)	農作物鳥獣害防止総合対策事業 (処理加工機器整備支援事業) 補助率:1/2以内(上限175万円) 事業費:3,282,120円 補助額:1,641,000円 内容:備品購入費(冷蔵庫他)	農作物鳥獣害防止総合対策事業 (処理加工機器整備支援事業) 補助率:1/2以内(上限175万円) 事業費:4,983,831円 補助額:1,750,000円 内容:備品購入費(スライサー他)



(写真 ジビエ本宮)



(写真 ひなたの杜)

※ 運営補助は17,072,384円

ジビエを活用した地域活性化(普及活動)

■ イベント等でのPR(田辺市鳥獣害対策協議会事業)

市内で開催される各種イベント(農林水産業まつり、マラソン大会等)においてジビエ料理を提供。

有効活用が出来るように

鹿ノジキ



■ 「ジビエを知る会」(日向屋事業(民間事業))

田辺市上芳養地区の農家で組織された「日向屋」の取り組み。地域住民を対象としたジビエ普及活動を定期的実施。

ステーション



地元住民への普及会

■ 「わかやまジビエフェスタ」(和歌山県事業)

シカやイノシシを地域資源として有効活用し、広く普及させる取組の一環として、県内飲食店・宿泊施設59店舗の協力のもと実施。田辺市内では5店舗でジビエ料理を提供。(「フェスタ2018-2019」実績)



the CUE

20

5 所 感

鳥獣被害の大きさが全国的にも広がり続け、どこも深刻になっているにも関わらず、対策の担い手は高齢化の上、減少続きでいくらお金をつけても十分な対策は不可能になっている。その中で若者が新しい試みをしてくれるのがとてもうらやましいというのが正直な感想である。

「ひなたの杜」にも現場に行かせて頂いたが、とても丁寧かつ熱心なプレゼンテーションで説明して頂き、「自らの住むところは、自らで守る」との思いがあふれていた。

設立から3年でチームのメンバーも増え、特にシェフが加入したおかげでジビエの充実度が増したようである。ただ、捕獲した鳥獣を最終的に殺すところは専任の方がいるのだが、やはり命を奪う役目なのできつい仕事であるだろうと少し心配になったが、担当の方は、命をいただく意味をしっかりと自分の中に持っており、専門の職人として確立されているようで、人材のめぐりあわせにも「縁」を感じる方々であった。

小野市としてはジビエ事業にまではなかなか到達できるものではないと思うが、鳥獣被害対策については、やはり人材の育成・確保に更なる予算、取組が必要であると感じる。

令和元年8月15日

小野市議会議長 川名 善三 様

派遣議員 久 後 淳 司 ⑩

議員派遣報告書

先般、実施しました議員派遣について下記のとおり報告いたします。

記

1 派遣日 令和元年8月8日（木）～ 令和元年8月9日（金）

2 派遣議員

- ・前田 光教・岡嶋 正昭・小林 千津子・高坂 純子
- ・河島 三奈・川名 善三・村本 洋子・久後 淳司

3 派遣先及び内容

(1) 奈良県奈良市（人口：約35万6千人、面積：276.94km²）

奈良市ポイント制度について

(2) 和歌山県田辺市（人口：約7万4千人、面積：1026.91km²）

鳥獣被害対策・ジビエ事業について

4 内 容

【第1日】

奈良県奈良市

人口：人口：約35万6千人、面積：276.94km²

《項 目》

奈良市ポイント制度について

《奈良市ポイント制度の目的》

外出機会の創出や健康への意識づけによる健康寿命の延伸、社会貢献活動への参加による市民参画意識の向上を目的としている。

《制度概要》

- 平成25年10月 高齢者の入浴補助に代わる制度として検討
平成25年11月 市長マニフェストNEXT4に基づき検討（当初はスタンプカード等で検討）
平成26年1月 長寿福祉課と協働推進課により検討開始
平成26年8月 プロポーザルにて業者選定
平成27年1月 奈良市ポイント制度開始（長寿健康ポイント、ボランティアポイント）
平成27年4月 健康増進ポイント開始
平成27年6月 健康スポーツポイント開始
平成27年10月～平成28年1月 奈良市ポイント付プレミアム商品券発行
平成28年3月 健康増進強化月間
平成28年8月 加盟店アンケート調査
平成29年3月 健康増進強化月間
平成29年5月 キャラクター愛称決定（ななポン、ららポン）、西部出張所、北部出張所においてポイント交換、カード新規登録開始
平成30年2月 加盟店スタンプラリー開催
平成30年6月 多子世帯支援ポイント事業開始
令和元年6月 環境ポイント事業、ごみ減量モニターポイント事業開始

《制度予算（市単費）》

- 平成26年度：システム開発費用（元々民間で使用していたシステムを利用した）含む
総額568万2千円
平成29年度：システム運營業務委託費1,257万2千円
ポイント管理業務委託費1,300万円
平成31年度：システム運營業務委託費1,288万4千円、
ポイント管理業務委託費1,688万8千円
その他ポイント108万円

《対象》

70歳以上の市民対象⇒「長寿健康ポイント事業」

全市民対象⇒「ボランティアポイント事業」「健康増進ポイント事業」「健康スポーツポイント事業」「環境ポイント事業」「ごみ減量モニターポイント事業」

3人以上の子を養育している人⇒「多子世帯支援ポイント事業」

《ポイントカード》

ポイントカード

70歳以上

ななまるカード (CI-CA)

※事前に登録されていますので登録は不要です。



ななまるカード (老春手帳の名称変更とカードの一本化)

変更前

2枚持ち

- ・老春手帳
- ・老春手帳優待乗車証



+



変更後

ななまるカード



※ななまるカードという名称は、老春手帳に変わるものとして、市民から募集し「70歳を表記しつつも、老人を連想させず、覚えやすくシンプルで、呼びやすい」という理由で選定しました。

老春手帳優待乗車証・ななまるカードをお持ちでない方

申請

- ①長寿福祉課 ②出張所 ③連絡所 ④行政センター

ポイントカード

70歳未満

交通系のICカード

(CI-CA、PiTaPa、ICOCAなど)

交通系ICカード



CI-CA



PiTaPa



ICOCA

市が発行するICカード



大人向け



子供向け

タニタ活動量計



TANITA

※登録が必要になります。

ICカードがない方については、市で作成したカードを配布します。

登録できる場所

各事業参加した場所、各加盟店

平日：地域づくり推進課、西部・北部・東部出張所、月ヶ瀬行政センター、都祁行政センター、奈良市ポイント運営事務局

毎日：市民サービスセンター

土日：ボランティアインフォメーションセンター

多子世帯支援ポイント

多子世帯支援ポイントは、申請により専用のカードを発行します。



【カード利用のルール】

- ・交通系 I C カードとの合算や共有はできない。
- ・奈良市ポイントと既存のカードのチャージやポイントとは別になり、奈良市ポイントを貯めても既存のカードのチャージやポイントが増えることはない。

【ポイント制度の仕様】

- ・ I C カード内の I D m (カード固有番号) を読みサーバー管理
- ・インターネット環境、カードリーダー等必要
- ・有効期限は最終使用日から 1 年以内
- ・加盟店は 0.5 % の手数料の支払い

《ポイント運営事務局の業務》

- ① システムの保守・管理
- ② コンテンツの制作
- ③ ホームページの運用
- ④ ポイントカード発行管理、利用者情報管理、渉外業務、問い合わせ対応、広報、事業の実施、ポイント付与業務等（職員 4 名＋アルバイト 2 名）
- ⑤ その他ポイント制度の運営に係る業務全般

《市が行う業務》

- ① 市のポイント対象事業の実施とポイント付与
- ② ポイントカードの新規登録
- ③ ポイント交換
- ④ 委託料の支払い
- ⑤ 運営事務局との連携
- ⑥ 毎月ポイント関係課会議の実施

《長寿健康ポイント事業》

【目的】

高齢者の外出の機会を増やし、高齢者がいきいきと健康的な生活を送ることにより、健康寿命を延ばすこと

- ・各公民館・福祉センターで実施する高齢者を対象とした事業
- ・まほろば健康ウォーク
- ・運転免許証の自主返納

【ポイント数】

- ・講座の受講や講演会への参加等 1 回 20 ポイント
- ・ウォーキングイベントやスポーツ大会等 1 回 50 ポイント
- ・運転免許証の返納 2,000 ポイント

《ボランティアポイント事業》

【目的】

ボランティア活動へのきっかけづくりと地域に根差したボランティア活動を促進して行くことで、市民参画への意識の向上

- ①ボランティアセンターで実施する事業
- ②ボランティアインフォメーションセンターで実施する事業
- ③市が実施又は団体と協働するボランティア関連事業
 - ・地区社協が行うサロン活動に従事するボランティア
 - ・図書館ボランティア
 - ・総合福祉センターで行われるボランティア養成講座
- ④福祉政策課が実施する元気ならエクササイズ等のボランティア

【ポイント数】

- ・ボランティアセンターで実施する講座1回100ポイント
- ・ボランティアインフォメーションセンターで実施する講座1回100ポイント
- ・絵本リサイクル（リユース）1冊20ポイント
- ・各地区社協サロン活動ボランティア1回50ポイント
- ・図書館ボランティア1回50ポイント
- ・総合福祉センターボランティア養成講座1回50ポイント

《健康増進ポイント事業》

【目的】

食事・運動・禁煙等、健康づくりに継続して取り組むことを目的

「スマートに生きるなら奈良」をコンセプトに

『SmaNARA健康プロジェクト』を実施

- ・SmaNARA健康6ヶ月チャレンジ
- 6ヶ月先の健康目標を決めて、チャレンジシートを記入、専門スタッフから励ましやアドバイスがもらえます

- ・SmaNARA健康プロジェクト関連事業
- ・1日8,000歩以上で健康づくり
- ・胃がんリスク検診

【ポイント数】

- ・SmaNARA健康6ヶ月チャレンジ
- 1ヶ月継続100ポイント6ヶ月継続500ポイント
- ・SmaNARA健康プロジェクト関連事業1回20～50ポイント
 - ・1日8,000歩以上で健康づくり
- 8,000歩200ポイント、6,000歩100ポイント
- ・20日ならウォーク50ポイント
 - ・胃がんリスク検診上限3,000ポイント

《健康スポーツポイント事業》

【目的】

スポーツイベントへの参加やトップスポーツの試合観戦など、スポーツに関心を持ち、健康づくりやスポーツをする機会を増やす

- ・奈良クラブ、バンビシヤス奈良のホームゲームの観戦
- ・市が実施又は指定するスポーツイベント
- ・ラジオ体操ではじめる健康づくり“ラジオ体操ポイント”

【ポイント数】

- ・奈良クラブ、バンビシヤス奈良の試合観戦1回100ポイント
- ・市が実施又は指定するスポーツイベント1回20～50ポイント
- ・ラジオ体操ポイントスタンプ50個100ポイント

《多子世帯支援ポイント事業》

【目的】

多子世帯の子育てを支援する

対象は3人以上の子を養育している人

平成30年4月1日以降に生まれた第3子以降の子を養育する人は申請によりポイント付与。

【ポイント数】

多子世帯支援ポイント10,000ポイント

《環境ポイント事業》

【目的】

地球温暖化対策の一環として、省エネルギーに資する環境にやさしい行動を取り組むことを目的とします。

担当：環境政策課

- (1) エコチャレンジポイント（電気・ガス使用量の前年比削減量（CO₂削減量（kg）に換算）×5ポイント）

電気・ガスの使用量の削減に6ヶ月間取り組み、前年と比較し削減できた使用量に応じてポイントを発行

- (2) グリーンカーテン設置ポイント（100ポイント）

自己の居住の用に供する市内の住宅にグリーンカーテンを設置した人

- (3) 宅配ボックス設置ポイント（上限5,000ポイント※1000ポイント単位）

自己の居住の用に供する市内の住宅（共同住宅を除く）に宅配ボックスを設置した人に、宅配ボックスの購入費の2分の1のポイントを発行）

- (4) 雨水タンク設置ポイント（上限10,000ポイント※1000ポイント単位）

自己の居住の用に供する市内の住宅（共同住宅を除く）に雨水タンクを設置した人に、雨水タンクの購入費の2分の1ポイントを発行）

《ごみ減量モニターポイント事業》

【目的】

ごみの減量化の裾野を広げることを目的

令和元年度は、ごみ減量化を進めるため、「ダンボールコンポスト」を利用した生ごみ減量モニターの方に達成段階に応じてポイント（合計1000ポイント）

《ポイントの使い方》

①奈良市の特産品

奈良市のいちご、お米、お茶等と交換することができます。

②奈良交通バスの1,000円チャージ券

奈良交通のCI-CAにチャージできる券と交換することができます。
チャージ券とCI-CAを持って、奈良交通の窓口へ行き、チャージします。

③ななまるお風呂券（70歳以上対象）

100ポイントで1枚交換

70歳以上の方、市内の銭湯で利用できる券

④加盟店での割引（1ポイント=1円）

加盟店での買い物の時にポイントを使うことができます

⑥ タクシー券（500ポイントで500円分）

《ポイント実績》

【ポイント付与】

平成27年度5,688,037P⇒平成30年度14,397,880P

【ポイント利用】

平成27年度2,097,892P⇒平成30年度10,449,587P

【ポイント利用人数（延べ）】

平成27年度15,044人⇒平成30年度52,306人

【カード登録者数】

平成28年度95,317人⇒平成30年度125,913人

《今後の展開》

- ・ 公共料金に利用できないか検討
- ・ 図書館等で子供にも利用してもらえないか検討

《所 感》

奈良市のポイント制度は多岐にわたっており、各課で連携を取りながら効率よく制度運用されていると感じました。加盟店も多く増やす努力をされており、交換できる特産品や受けることのできるサービスなど、ユーザー側が利用意欲をそそる様なメニューが考えられていました。やはり一番大きなメリットは交通系ICカードと連携がとれてい

ることで、幅広い世代によって利用が促進される可能性が大きいところだと思います。なかなか小野市では、公共交通との紐づけは難しい部分もあるかと思いますが、例えばらんらんバスとの連携など、ひとつの検討材料としては、これからのポイント制度を考えるうえで大いに検討すべきだと感じました。

【第2日】

和歌山県田辺市

人口：約7万4千人、面積：1026.91km²（近畿地方で最大）

《項目》

鳥獣被害対策・ジビエ事業について

《内容》

＜主な作物＞

- ・梅、柑橘

＜H30年度：農作物の被害状況（獣種別）＞

- ① サル43.8%（15,314千円）
- ② シカ22.5%（7,870千円）
- ③ イノシシ14.8%（5,175千円）
- ④ アライグマ2.4%（822千円）
- ⑤ その他16.5%（5,762千円）

＜H30年度：農作物の被害状況（農作物別）＞

- ① 果樹89.8%（31,367千円）
- ② 水稲4.4%（1,537千円）
- ③ 野菜2.1%（729千円）
- ④ その他3.7%（1,310千円）

＜鳥獣被害防止対策の基本的な考え方＞

個体数調整（捕獲）

- ・狩猟、有害捕獲等

被害の防除（防護）

- ・防護柵の設置
- ・追い払い

集落の環境整備

- ・未収穫作物の収穫
- ・放置された規格外品の除去
- ・鳥獣の隠れ場所の刈払い

上記の3つの総合的な集落ぐるみの取組が重要

《被害軽減目標》

指標	現状値（平成 28 年度）	目標値（平成 32 年度）
農作物被害	36,901 千円 28ha	30,585 千円 23.5ha
イノシシ	5,657 千円 7.7ha	4,900 千円 6.4ha

指標	現状値（平成 28 年度）	目標値（平成 32 年度）
ニホンジカ	9,058 千円 12.1ha	7,800 千円 10.2ha
ニホンザル	15,923 千円 6.3ha	13,100 千円 5.2ha
アライグマ	715 千円 0.5ha	620 千円 0.5ha
カラス・ヒヨドリ	5,548 千円 1.4ha	4,165 千円 1.2ha
アユの被害	5,000 千円 10 万匹	2,865 千円 5.8 万匹
カワウ・ウミウ	5,000 千円 10 万匹	2,865 千円 5.8 万匹

《「防護柵」設置支援》

- ・ 2 戸以下を囲う場合⇒県単独事業（県 1/3 以下、市町村 1/3 以下）
- ・ 3 戸以上まとめて囲う場合⇒国庫事業（資材費＋設置費 1/2、資材費のみ定額）

《狩猟免許取得支援》

- ・ わな猟免許⇒経費 15,200 円（受講料 10,000 円、受験料 5,200 円）
 県：講習受講料全額、市：受験料 1/2⇒自己負担 2,600 円
- ・ 銃猟免許（第 1 種）⇒経費 50,200 円（受講料 10,000 円、受験料 5,200 円、銃所持許可の教習受講料 35,000 円）
 県：講習及び教習受講料全額、市：受験料 1/2⇒自己負担 2,600 円

《捕獲補助金額》

（単位：円）

対象鳥獣	令和元年度	
	銃	わな
イノシシ	15,000	10,000
シカ	15,000	10,000
サル	30,000	18,000
アライグマ	2,000	2,000
カラス	1,500	600

《有害鳥獣捕獲実績》

(単位：頭・羽)

対象鳥獣	平成28年度	平成29年度	平成30年度
イノシシ	877	1,244	871
シカ	2,666	2,735	2,728
サル	214	181	218
アライグマ	473	589	386
カラス	400	226	454
合計	4,630	4,975	4,657

※令和元年度田辺市捕獲従事者数379人(50代以上がほとんど)

《有害鳥獣捕獲補助金実績》

平成28年度：50,827千円

平成29年度：54,517千円

平成30年度：50,445千円

《チームひなた》

「地域の農地は自分たちで守る」を目的に、平成28年に30代の若手農家5人により発足

【背景】

チームひなたが活動する地区は梅やみかんの栽培が盛んだが、イノシシ・シカによる被害に加え、平成25年ごろからサルによる被害も急増。鳥獣の住家となる耕作放棄地も増えつつある中、将来に一層の被害拡大が懸念されることへの危機感

【活動】

駆除活動を行うとともに、食肉処理施設「ひなたの杜」とも連携し、捕獲した鳥獣の有効活動(ジビエ)にも取り組んでいる。さらに食育として地元保育園児とのとうもろこしの作付けや、福祉団体と連携した野菜等の作付け(農福連携)、地域の耕作放棄地対策等にも取り組んでいる。

《市内猟友会》

- ・田辺市には5つの猟友会
- ・猟友会員は市の有害鳥獣捕獲従事者
- ・本宮分会以外は、市農業振興課または行政局産業建設課が事務局担当
- ・運営補助金として市から5万円を支出

《田辺市鳥獣害対策協議会》

- ・JA紀南、JA紀州、JAみくまの、農家代表、猟友会、鳥獣保護管理員、学識経験者、射撃場施設運営者、県、田辺市により組織
- ・運営補助金としてJA紀南15万円、市15万円
- ・研修会、ジビエPR活動、ICT捕獲檻を購入し貸出

《大型檻による捕獲》

主にサル対策として市内8ヶ所、ICT檻は3ヶ所で稼働

※大型檻は設置場所が限られる（7m×7m）

※ICT檻はスマホで確認してボタン操作で作動、しかし電波が悪いと作動しないので課題

《集落の環境整備が重要》

- ・廃棄果実の除去、放任果樹の伐採
- ・鳥獣の隠れ場所の刈払い
- ・集落ぐるみの追い払い
- ・防護柵の設置

《田辺市野生鳥獣食肉処理施設整備事業》

【市補助金】

補助率：4/5 以内（上限 320 万円）

事業費：15,010,384 円

補助額：3,200,000 円

規模：木造平屋建て 135 m²

内容：建築、電気設備工事等

【県補助金】

補助率：1/2 以内（上限 175 万円）

事業費：4,983,831 円

補助額：1,750,000 円

内容：備品購入費

ジビエの解体処理作業現場



《平成30年度：ジビエ施設での活用実績》

(単位：頭)

施設	イノシシ	シカ	合計
ジビエ本宮	7	91	98
ひなたの杜	115	76	191
合計	122	167	289

《所 感》

田辺市で一番印象に残った鳥獣害対策は、やはりチームひなたの取組です。若手農家といってもそれぞれがこれまで全く異なる職業を経て、自分達の地域は自分たちで守るという意識がとても強く、しかも動物の命をやむなく奪うということにも、意味を考えながら活動されている志の高さに感服いたしました。ただ単に鳥獣害から作物を守るというだけではなく、ジビエを活用した食育や地域おこしのツアーの開催、また耕作放棄地を活用した保育園児との交流や、今後は空き倉庫の活用し農福連携として障がい者雇用にまで視野に入れておられ、単なる鳥獣害という小さな括りではなく、様々な地域の抱える問題をリンクさせながら解決しようとしている活動はとても学ぶべきことが多かったです。小野市においても、鳥獣害被害を一点で捉えるのではなく、俯瞰的視野をもって地域の抱えるいろんな事象をリンクさせて考えていくべきだと感じました。

令和元年8月20日

小野市議会議長 川名 善三 様

派遣議員 村本 洋子 印

議員派遣報告書

先般、実施しました議員派遣について下記のとおり報告いたします。

記

1 派遣日

令和元年8月8日（木）～令和元年8月9日（金）

2 派遣議員

前田光教、岡嶋正昭、久後淳司、河島三奈、高坂純子、小林千津子、川名善三、村本洋子

3 派遣先

- (1) 奈良県奈良市（人口：約35万6千人、面積：276.94km²）
- (2) 和歌山県田辺市（人口：約7万4千人、面積：1,026.91km²）

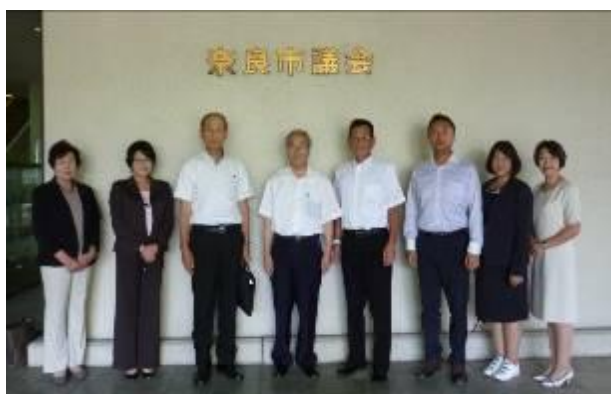
4 内容

【第1日】奈良県奈良市

人口：約35万6千人、面積：276.94km²

I 奈良市ポイント制度について

市が指定する事業やイベント等に参加して、健康づくりや社会貢献をしながらポイントを貯め、貯めたポイントを加盟店での利用や市の特産品、バスのチャージ券、タクシー利用券など、いろいろな特典に交換できる制度です。



奈良市ポイント制度概要

1. 奈良市ポイント制度のあゆみ

年 月	事 項
平成 25 年 10 月	高齢者の入浴補助に代わる制度として検討(長寿福祉課)
平成 25 年 11 月	市長マニフェストNEXT 4内の施策に基づき検討(協働推進課) ※当初は、スタンプカード等でのポイント付与を検討
平成 26 年 1 月	ポイント制度の構築にあたり、長寿福祉課と協働推進課の2課により検討開始
平成 26 年 8 月	プロポーザルを実施し、業者選定
平成 27 年 1 月	奈良市ポイント制度開始(長寿健康ポイント、ボランティアポイント) ※市長による記者発表、しみんだよりによる広報
平成 27 年 4 月	健康増進ポイント開始
平成 27 年 6 月	健康スポーツポイント開始
平成 27 年 10 月～ 平成 28 年 1 月	奈良市ポイント付プレミアム商品券発行
平成 28 年 3 月	健康増進強化月間(プラス100ポイント)
平成 28 年 8 月	加盟店に関するアンケート調査
平成 29 年 3 月	健康増進強化月間(ポイント2倍)
平成 29 年 5 月	キャラクター愛称決定(男の子) ななポン(女の子) ららポン 西部出張所、北部出張所においてポイントの交換、カードの新規登録開始
平成 30 年 2 月～3 月	加盟店スタンプラリー開催(43店舗参加)
平成 30 年 6 月	多子世帯支援ポイント事業(子ども政策課)開始 東部出張所、月ヶ瀬行政センター、都 行政センター、市民サービスセンターにおいてポイントの交換、カードの新規登録開始
令和元年 6 月	環境ポイント事業(環境政策課)開始 ごみ減量モニターポイント事業(廃棄物対策課)開始



2. 奈良市ポイントカード登録者数

	カード登録者数	ななまるカード	交通系ICカード
平成28年度	95,317人	58,052人	37,265人
平成29年度	109,958人	61,810人	48,148人
平成30年度	125,913人	65,582人	60,331人

3. ポイント事業対象

長寿健康ポイント事業

70歳以上の市民

ボランティアポイント事業

健康増進ポイント事業

健康スポーツポイント事業

環境ポイント事業

ごみ減量モニターポイント事業

全市民

※ただし、事業ごとに年齢制限や参加対象を設けています。

多子世帯支援ポイント事業

3人以上の子を養育している人

(平成30年4月1日以降に出生した第3子以降の子を含む)



4. 奈良市ポイント制度予算（市単費） 平成31年度

奈良市ポイント制度システム運營業務委託		12,884,000円
奈良市ポイント制度ポイント管理業務委託		
(内訳) 長寿健康ポイント	3,293,160円	
ボランティアポイント	3,278,300円	
健康増進ポイント	5,918,500円	16,888,000円
健康スポーツポイント	710,000円	
多子世帯支援ポイント	3,815,000円	
環境ポイント（環境政策課）		1,000,000円
ごみ減量モニターポイント（廃棄物対策課）		80,000円

5. 長寿健康ポイント事業

【目的】 高齢者の外出の機会を増やし、高齢者がいきいきと健康的な生活を送ることにより、健康寿命を延ばすこと。

健康増進・介護予防に関する事業

- ・各公民館・福祉センターで実施する高齢者を対象とした事業
- ・まほろば健康ウォーク
- ・運転免許証の自主返納

【ポイント数】

- | | | |
|---------------------|----|-----------|
| ・講座の受講や講演会への参加等 | 1回 | 20ポイント |
| ・ウォーキングイベントやスポーツ大会等 | 1回 | 50ポイント |
| ・運転免許証の返納 | | 2,000ポイント |

6. ボランティアポイント事業

【目的】 ボランティア活動へのきっかけづくりと地域に根差したボランティア活動を促進して行くことで、市民参画への意識向上。

- ①ボランティアセンターで実施する事業
- ②ボランティアインフォメーションセンターで実施する事業
- ③市が実施又は団体と協働するボランティア関連事業
 - ・地区社協が行うサロン活動に従事するボランティア
 - ・図書館ボランティア
 - ・総合福祉センターで行われるボランティア養成講座
- ④福祉政策課が実施する元気ならエクササイズ等のボランティア

【ポイント数】

- | | | |
|-----------------------------|----|---------|
| ・ボランティアセンターで実施する講座 | 1回 | 100ポイント |
| ・ボランティアインフォメーションセンターで実施する講座 | 1回 | 100ポイント |
| ・絵本リサイクル（リユース） | 1冊 | 20ポイント |
| ・各地区社協サロン活動ボランティア | 1回 | 50ポイント |
| ・図書館ボランティア | 1回 | 50ポイント |
| ・総合福祉センターボランティア養成講座 | 1回 | 50ポイント |

7. 健康増進ポイント事業

【目的】 食事・運動・禁煙等、健康づくりに継続して取り組むこと。

「スマートに生きるなら奈良」をコンセプトに『SmaNARA 健康プロジェクト』を実施

- ・SmaNARA 健康6ヶ月チャレンジ
6ヶ月先の健康目標を決めて、チャレンジシートを記入。
専門スタッフから励ましやアドバイスがもらえる。
- ・SmaNARA 健康プロジェクト関連事業

- ・ 1日8,000歩以上で健康づくり
- ・ 胃がんリスク検診

【ポイント数】

・ SmaNARA 健康6カ月チャレンジ	1カ月継続	100ポイント
	6カ月継続	500ポイント
・ SmaNARA 健康プロジェクト関連事業	1回	20～50ポイント
・ 1日8,000歩以上で健康づくり	8,000歩	200ポイント
	6,000歩	100ポイント
・ 20日ならウォーク		50ポイント
・ 胃がんリスク検診	上限	3,000ポイント

8. 健康スポーツポイント事業

【目的】 スポーツイベントへの参加やトップスポーツの試合観戦など、スポーツに関心を持ち、健康づくりやスポーツをする機会を増やすこと。

- ・ 奈良クラブ、バンビシヤス奈良のホームゲームの観戦
- ・ 市が実施又は指定するスポーツイベント
- ・ ラジオ体操ではじめる健康づくり “ラジオ体操ポイント”

【ポイント数】

・ 奈良クラブ、バンビシヤス奈良の試合観戦	1回	100ポイント
・ 市が実施又は指定するスポーツイベント	1回	20～50ポイント
・ ラジオ体操ポイント	スタンプ50個	100ポイント

9. 環境ポイント事業

【目的】 地球温暖化対策の一環として、省エネルギーに資する環境にやさしい行動に取り組むこと。

①エコチャレンジポイント

(電気・ガス使用量の前年比削減量×5ポイント)

②グリーンカーテン設置ポイント

自己の居住の用に供する市内の住宅にグリーンカーテンを設置した人

100ポイント

③宅配ボックス設置ポイント

購入費用の2分の1のポイント

1,000ポイント単位 上限5,000ポイント

④雨水タンク設置ポイント

購入費用の2分の1のポイント

1,000ポイント単位 上限10,000ポイント

10. ごみ減量モニターポイント事業

【目的】 ごみの減量化の裾野を広げること。

令和元年度は、ごみ減量化を進めるため「ダンボールコンポスト」を利用した生ごみ減量モニターの方に達成段階に応じてポイント(合計1,000ポイント)

1 1. 多子世帯支援ポイント事業

【目的】 多子世帯の子育てを支援すること。

対象は3人以上の子を養育している人

平成30年4月1日以降に生まれた第3子以降の子を養育する人は申請によりポイント付与。

【ポイント数】

多子世帯支援ポイント

10,000ポイント

1 2. ポイントの使い方

- ①奈良市の特産品
- ②奈良交通バスの1,000円チャージ券
- ③ななまるお風呂券（70歳以上対象）
- ④加盟店での割引（1ポイント＝1円）
- ⑤タクシー券（500ポイントで500円分）

《 所 感 》

奈良市では、民間のシステムを利用し、システム開発費の抑制、奈良交通バス等の交通系 IC カードと連動されていて便利だと思いました。奈良市ポイント加盟店でのお買い物にポイントが付与されたり、高齢者の免許証自主返納にもポイントが付与されるなど、多様だと感じました。対象者も子どもから大人まで幅広く利用できる点など大変参考になりました。

おのアクティブポイント事業にあてはめてみると、現状では厳しいものがあると思いますが、市民の皆さまが楽しく参加できるように、事業を少しでも前進させていきたいと思います。

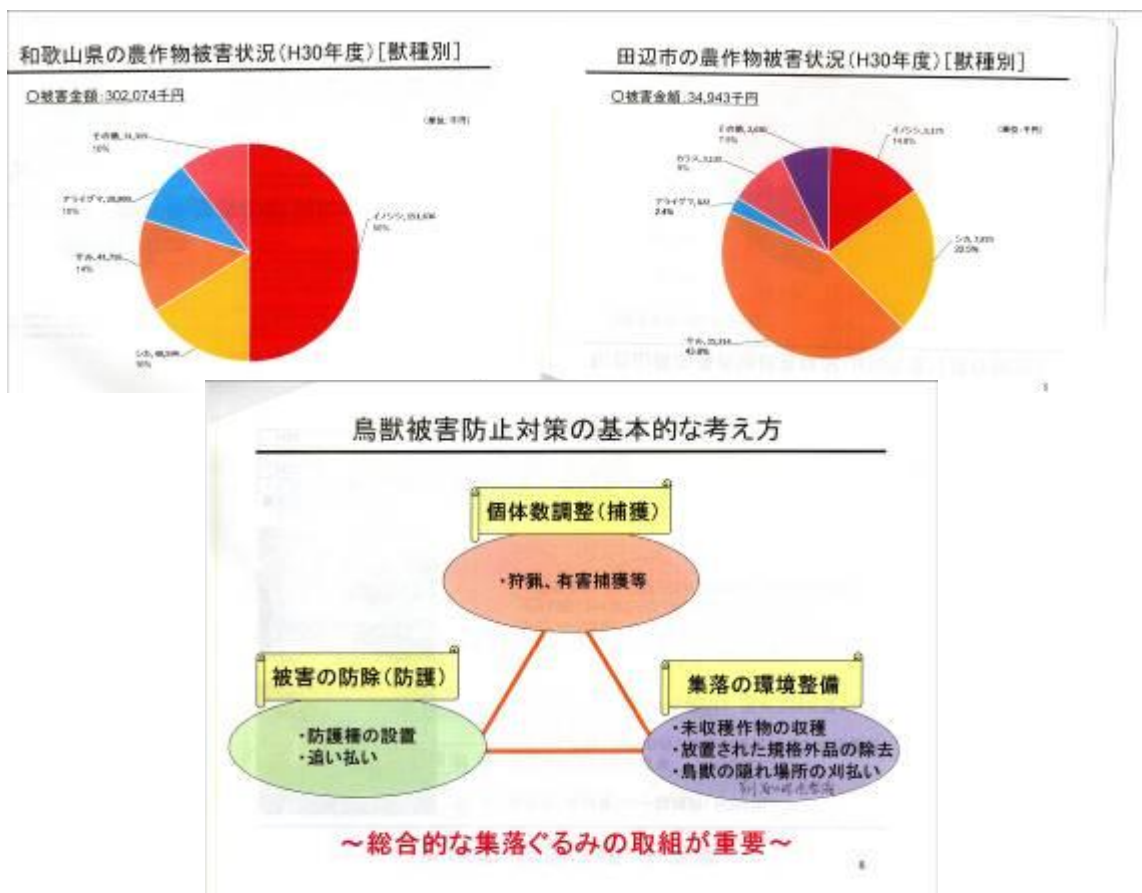
【第2日】和歌山県田辺市

人口：約7万4千人、面積：1,026.91km²

II 鳥獣被害対策・ジビエ事業について



1. 鳥獣被害



2. 市事業（「防護柵」設置支援）

【内容】 事業費（資材費）の一部補助（1/2以内）

【対象】 田辺市在住の農業者等

【事業費】 30,000円以上（補助金15,000円～上限150,000円）

【実績】

（単位：件・円）

年度	件数	市補助金	自己負担	総事業費
H28	174	11,098,000	11,663,932	22,761,932
H29	163	9,759,000	10,668,269	20,427,269
H30	153	9,980,000	10,955,634	20,935,634

3. 県・市事業（狩猟免許取得支援）

【内容】 狩猟免許の取得に係る経費の一部補助

【条件】 ①免許取得年度狩猟登録をすること

②有害鳥獣駆除に取り組むこと

【実績】

（単位：人・円）

区分	人数	県補助金	市補助金	自己負担	事業費	
銃	初心者	18	758,000	44,200	44,200	846,400
	経験者	9	350,000	13,650	13,650	377,300
わな	初心者	174	1,725,500	452,400	452,400	2,630,300
	経験者	30	150,000	58,500	58,500	267,000
合計	231	2,983,500	568,750	568,750	4,121,000	

4. 有害鳥獣捕獲補助金及び捕獲実績

【捕獲補助金額】 (単位：円)

対象鳥獣	令和元年度	
	銃	わな
イノシシ	15,000	10,000
シカ	15,000	10,000
サル	30,000	18,000
アライグマ	2,000	2,000
カラス	1,500	600

【有害鳥獣捕獲実績】 (単位：頭・羽)

対象鳥獣	H28年度	H29年度	H30年度
イノシシ	877	1,244	871
シカ	2,666	2,735	2,728
サル	214	181	218
アライグマ	473	589	386
カラス	400	226	454
合計	4,630	4,975	4,657

【有害鳥獣捕獲補助金実績】 (単位：円)

年度	補助金額
H28	50,827,000
H29	54,517,000
H30	50,445,000

5. 若手農家による狩猟団体「チームひなた」の紹介

「地域の農地は自分たちで守る」を目的に、平成28年に30代の若手農家5人により発足。同年の猟期から活動を開始。以降、田辺市の有害鳥獣捕獲従事者として活動している。



【背景】 チームひなたが活動する田辺市上芳養日向地区は梅やみかんの栽培が盛んであるが、イノシシやシカによる被害に加え、平成25年頃から特にサルによる被害が急増。鳥獣の住み家となる耕作放棄地も増えつつある中、将来、有害鳥獣によるより一層の被害拡大が懸念されることへの危機感。

【活動】 地区内の有害鳥獣駆除活動を担うとともに、食肉処理施設「ひなたの杜」とも連携し、捕獲した鳥獣の有効活動（ジビエ活用）にも取り組んでいる。この他、食育として地元保育園児とのとうもろこしの作付けや、福祉団体と連携した野菜等の作付け（農福連携）、地域の耕作放棄地対策等にも取り組んでいる。



《 所 感 》

田辺市の若手農家による「チームひなた」の活動に、大変感動しました。鳥獣害対策には、長期的な政策や猟友会や関係機関との連携も必要だと感じました。

小野市でもすぐ出来ることとして廃棄作物の除去や放任されている畑等の環境整備が大切だと思います。2020年度に「ジビエハンター」の認定制度も創設されます。小野市としても安全かつ良質な状態で肉をさばいて運べるハンターを育成し、有害鳥獣の有効活用につなげることも考えていかなければと思いました。また、若者が担い手となって小野市の農業も発展してほしいと思いました。

令和元年8月20日

小野市議会議長 川名 善三 様

派遣議員 川 名 善 三 ⑩

議員派遣報告書

先般、実施しました議員派遣について下記のとおり報告いたします。

記

1 派遣日 令和元年8月8日（木）～令和元年8月9日（金）

2 派遣議員

川名善三・村本洋子・岡嶋正昭・前田光教・小林千津子・高坂純子・久後淳司
河島三奈

3 派遣先及び調査内容

(1) 奈良県奈良市（人口：約35万6千人、面積：276.94km²）
奈良市ポイント制度について

(2) 和歌山県田辺市（人口：約7万4千人、面積：1,026.91km²）
鳥獣被害対策・ジビエ事業について

【第1日】

奈良県奈良市

人口：約35万6千人、面積：276.94km²

《項目》

奈良市ポイント制度について

《内容》

(1) 概要

奈良市民が、市主催の事業や市が指定する事業等に参加して、健康づくりや社会貢献をすることによりポイントを貯め、貯めたポイントを加盟店での利用や市の特産品やバスのチャージ券などの特典に交換できる制度で、平成27年度よりスタート





1) 対象

- ・ 長寿健康ポイント事業 ⇒ 70歳以上の市民
- ・ ボランティアポイント事業
- ・ 健康増進ポイント事業
- ・ 健康スポーツポイント事業
- ・ 環境ポイント事業
- ・ ゴミ減量ポイント事業
- ・ 多子世帯支援ポイント事業 ⇒ 3人以上の子を養育している人

} ⇒ 全市民

2) ポイントカードの種類

カード自体は、非接触ICカード（TypeA、Felica等）など現在市民が利用している交通系ICカードを使用し、70歳以上の市民と、交通系ICカードを所有していない方は独自のICカードを発行する。

（ICカード内のID固有番号を読み取り、市のサーバーでポイントを管理）

- ① 70歳以上の市民⇒ななまるカード
- ② ならポイントカード（大人用・子ども用）
- ③ 交通系ICカード（CI-CA .PiTaPa ICOCAなど）

交通系ICカードを使用してポイントを管理するが、既存カードとしてのチャージやポイントとは別利用となる。（ICカード内ではポイントを管理しないため）

（2）ポイント利用

- ① 奈良市の特産品
- ② 交通バスの1,000円チャージ券
- ③ ななまるお風呂券（70歳以上・市内の銭湯で使用可）
- ④ 加盟店での割引（1ポイント＝1円）
- ⑤ タクシー券（500ポイントで500円分・市内4事業者で使用可能）

（3）登録者数（平成30年度）

125,913人（ななまる65,582人、交通系ICカード60,331人）

（4）ポイント利用実績

10,449,587P（付与実績14,397,880P）

《所 感》

奈良市のポイント制度は、元来高齢者の入浴補助に代わる制度として検討されたものであるが、現在は高齢者の外出や交流の機会の増加や健康増進、ボランティア活動の促進などを通じて健康寿命をのばし、地域交流や住民自治への意識向上につなげるきっかけとなるツールとして進化しつつある。カード自体をすでに普及しつつある交通系ICカードを利用することにより、新規発行の手間が省かれると共に、常時携帯されているものであり、ポイント付与の機会逸脱を防ぐ効果も見込まれる。



また、独自の加盟店を開拓し、使用の幅を持たせることにも取り組まれており、さらなる市民への普及拡大が期待される。

【第2日】

和歌山県田辺市

人口：約7万4千人、面積：1,026.91km²

《項目》

鳥獣被害対策・ジビエ事業について

《内容》

田辺市は、紀伊半島の南西側、和歌山県の南部に位置し、平成17年5月に旧田辺市、龍神村、中辺路町、大塔村、本宮町の市町村合併により、新「田辺市」となる。

西よりの海岸部に都市的地域を形成するほか、森林が大半を占める中山間地域が広がり総面積は1,026.91平方キロメートル（東西約46km、南北約47km）で和歌山県全域の約22%を占める県内第1位の面積となっている。



(1) 鳥獣被害対策

1) 田辺市の農作物被害

被害額：34,943千円（サル15,314千円・シカ7,870千円・イノシシ5,175千円）

農作物別：果樹31,367千円・水稻1,537千円・野菜729千円・その他1,330千円

(2) 具体的支援策

①防護柵設置支援（市事業）

- ・内容：事業費の一部補助（1/2以内）
- ・対象：田辺市在住の農業者等（一人年間1申請のみ）
- ・事業費：30,000円以上
- ・平成30年度実績：153件（市補助額9,980千円）

②防護柵設置支援（県・国事業）

・県単独事業

内容：2戸以下を囲う場合

補助金：資材費のみ 県1/3以下、市町村1/3以下

平成30年度実績：1件（市補助額106千円・県補助額106千円）

・国庫事業

内容：3戸以上まとめて囲う場合

補助金：①資材費+設置費 1/2

②資材費のみ 定額

平成30年度実績：なし

③狩猟免許取得支援（県・市事業）

内容：狩猟免許（わな猟、銃猟（第1種）の取得にかかる経費の一部補助）

条件：①免許取得年度の狩猟登録をすること

②有害鳥獣駆除に取り組むこと



○わな猟免許

経費：15,200円（講習受講料10,000円/受験料5,200円）

補助額：個人負担2,600円（県⇒講習受講料全額/市⇒受験料1/2）

○銃猟免許

経費：50,200円（講習受講料10,000円/受験料5,200円、銃所持許可の教習受講料35,000円）

補助額：個人負担2,600円（県⇒講習教習受講料全額/市⇒受験料1/2）

平成30年度実績

件数 231件 事業費4,121千円

(3) 捕獲実績

対象鳥獣	捕獲補助金額（円）		捕獲実績（頭・羽）			捕獲補助金実績	
	令和元年度		H28年度	H29年度	H30年度	H28	H29
銃	わな	H30年度					
イノシシ	15,000	10,000	877	1,244	871	50,827	
シカ	15,000	10,000	2,666	2,735	2,728	54,517	
サル	30,000	18,000	214	181	218		
アライグマ	2,000	2,000	473	589	386		
							(千円)

(4) 捕獲後の処理について

○狩猟者による適切な処理（鳥獣の放置等の禁止）

○有害鳥獣の焼却受け入れ⇒市の廃棄物処理施設での受け入れ

○ジビエ施設での活用（単位：頭）

ジビエ施設での受け入れ実績(H30年度)			
施設	イノシシ	シカ	合計
ジビエ本宮	7	91	98
ひなたの杜	115	76	191
合計	122	167	289



(5) 「ひなたの杜」の取り組みについて

1) 活動の背景

和歌山県田辺市の市街地より車で30分程に位置する農業と紀州南高梅とみかんなどの柑橘類が主力産業である、人口約1,700人の上芳養の日向（ひなた）地区。

全国的に問題となっている人口減少問題は当地域に於いても深刻な問題となっており、人口の減少により耕作放棄地が増え、耕作放棄地が増えることで、鳥獣害による農作物への被害も大きくなるという問題に直面していた。これらの地域課題に立ち向かうべく平成28年に5人の地元の若手農家（全員が30代）が集まり、有害鳥獣捕獲従事者として「チームひなた」を結成。平成29年度には、捕獲鳥獣の有効活用を図るため、食肉処理施設「ひなたの杜」設立に至る。

2) チームひなたの活動

地区内の有害鳥獣駆除活動をになうと共に、食肉処理施設「ひなたの杜」において捕獲した鳥獣の有効活用にも取り組んでいる。農業と狩猟を組み合わせることにより生まれたコミュニティを活かし、食育として地元保育園児のトウモロコシの作付けや福祉団体と連携した野菜等の作付けなどの農業体験ツアーなどのグリーンツアーリズムを企画するなど、耕作放棄地対策にも取り組んでいる。

- ・親子向け狩猟解体体験とジビエ BBQ
- ・美味しく食べて地域貢献「筍掘りツアー&ジビエ BBQ」
- ・鹿骨を使ったアクセサリー作りワークショップなど



《所 感》

広大な市域を持つ田辺市は、農産物として、梅や柑橘などを特産としていることもあり、和歌山県全体としても有害鳥獣駆除は、より深刻な課題となっている。対策としては、捕獲と防護が一般的であるが、加えて廃農園の果樹の伐採処理や、規格外作物の撤去などの集落の環境整備も重要とされている。行政の支援策においても、狩猟免許取得への補助制度や捕獲後の処理についてもかなり充実したものとなっている。

5人の青年農業者が新しい発想のもとで起業されたジビエ事業の拠点「ひなたの杜」での取り組みは、単なるジビエ食材の供給施設のみならず、食育や農福連携など農業の持つ多様な機能を生かした新しい農業モデルが構築されている。常に新しい事業を求め続けるスタッフの強い意欲が感じられ、今後のさらなる事業展開が期待される。